

委託事業実施内容報告書

平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 特定非営利活動法人フィリピンナガイサ

1. 事業名称

BAYANIHAN ～みんなで地域をつくっていきこう～

2. 事業の目的

1. 自立支援

静岡県西部地域に在住するフィリピン人の生活が安定し、よりよい暮らしができることを目指す。

2. 地域との連携、地域への還元

教室は、フィリピン人にとっては日本語を学び、そして近隣に住む日本人と交流を深める場とする。いっぽう日本人においては、異文化理解を促す場とする。双方が安心して暮らしやすい地域をつくることを実現するために企業や行政、関係諸機関等と連携を図り、生活に必要な日本語、情報提供、相談等、独自の日本語教室を多角的に展開する。社会に対して「地域の課題に取り組む意義」を提唱し、教室活動で得られた成果を地域に還元していく。

3. 地域日本語教育において、バイリンガル指導者の重要性を発信する。そして育成する。

日本語能力が高く、日本文化にも理解のある者をバイリンガル指導者として位置づけ、地域の一員という立場を確立していく。その存在は日本社会との架け橋となるばかりでなく、指導者たちの「同胞のために」という信念は自助努力とコミュニティの自立を促すことに期待が持てる。その役割の重要性から、バイリンガル指導者育成を継続することも使命とする。

4. 日本語教育体制の整備に協力する

教室事業は初級レベルの在住フィリピン人を対象とする。当クラスは学習者にとって日本語を学ぶ入り口であり、修了時には「日本語学習を継続することの必要性」を説く。そのために、同地域内の日本語教室と連携を図り、日本語教育体制の整備の一助となるよう協力する。

3. 事業内容の概要

1. 静岡県西部地区に住むフィリピン人に対する日本語教室の設置・運営

「生活者としての外国人も地域の一員である」という考えのもと、学習者はもとより、同じ地域に住む日本人に「おしゃべりボランティア」として参加を呼びかける。地域ぐるみの教室活動を心がけ、教室で築かれたコミュニケーションを地域に還元していく。本教室への参加者募集は、開催地である協働センター、近くの自治会や民生委員等と連携をとり、行う。教室の外でも学習者が日本語を使って生活ができることを目標に掲げ、日本語に重点を置いた教室授業と臨場感あふれる練習、さらには生活情報の提供としてセミナーや体験学習を織り交ぜる。また、当教室の基本方針として、「日ごろからたがいに顔のわかる関係」を大切にすることから、教室開催期間に限らない関係が築かれるよう、配慮する。この教室が相互理解を促進する場となるよう、当地唯一の授業を計画している。

2. バイリンガル指導者の育成(日本人の地域日本語教育コーディネーターとの協働)

本事業で培ったノウハウを活かし、地域の実情に沿ったカリキュラムを展開する。日本人の地域日本語教育コーディネーターとバイリンガル指導者がチームを組み、教室運営を行うことで、互いの得意分野を活かす。バイリンガル指導者は、日本人のコーディネーターと組み、多様な教授法を用いた授業を展開し、実践していく。いっぽう日本人のコーディネーターは、バイリンガル指導者を介して、学習者のニーズを的確に把握できることで、学習者の心情に寄り添い、短期間で効率のよい学びを提供し、教室の企画・運営に活かすことができる。互いが意見交換を活発に行い、自己研鑽することにより、地域に求められるオリジナルの日本語教室をつくりあげていくことに努める。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年 7月16日	1.5時間	第一伊藤ビル	清ルミ氏、山屋宏氏、村松正利氏、猪井英典氏、鈴木ゆみ氏、石塚良明氏、市川淳子氏、村田和彦氏	委員会発足、正副委員長選出、今年度の計画	事業内容の検討
2	平成26年 12月17日	1.5時間	第一伊藤ビル	野々山勇氏、村松正利氏、山屋宏氏、鈴木ゆみ氏、猪井英典氏	中間報告と次年度計画の検討	次年度の計画
3	平成26年 7月16日	1.5時間	第一伊藤ビル	清ルミ氏、山屋宏氏、村松正利氏、猪井英典氏、鈴木ゆみ氏	今年度の報告、過去文化庁5年間のふりかえり	今後の課題「在住外国人の高齢化」「次世代の指導者を育成すること」

5. 日本語教育の実施

(1) 講座名称 「バヤニハン日本語教室～みんなで地域をつくっていこう～」東区クラス

(2) 目的・目標

バイリンガル指導者が同胞のために日本の公的機関や企業、ボランティアの協力を得て、生活に必要な日本語と情報、知識を教授する。この教室を通してフィリピン人と日本人が相互理解を深める。

「自立支援」「地域との連携、地域への還元」

「地域日本語教育において、バイリンガル指導者の重要性を発信する。そして育成する。」

「日本語教育体制の整備に協力する」

(3) 対象者 日本語レベルが入門、初級のおもにフィリピン人

(4) 開催時間数(回数) 21・5 時間 (全10回)

(5) 使用した教材・リソース オリジナル教材

(6) 受講者の総数 37 人

出身・国籍別内訳

中国	人	インドネシア	人
韓国	人	タイ	人
ブラジル	人	ペルー	人
ベトナム	人	フィリピン	37人
ネパール	人	日本	16人

(7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成26年7月6日 14:00～16:00	2時間	長上協働センター	21	フィリピン人17、日本人4	自己紹介	初対面のあいさつ方法を教える。次に名前札を作成し、あいさつや簡単な自己紹介の方法を教え、実践する。	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
2	平成26年7月20日 14:00～16:00	2時間	長上協働センター	10	フィリピン人6、日本人4	電話のかけかた	会社を休むとき、理由を伝えて休むための口頭練習、子どもの通う学校へ電話するときの名乗り方など	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
3	平成26年8月3日 14:00～16:00	2時間	長上協働センター	10	フィリピン人6、日本人4	学校のお便りの見方	日本の学校について学ぶ。	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
4	平成26年8月31日 14:00～16:00	2時間	長上協働センター	11	フィリピン人4、日本人7	浜松のお盆、葬式	浜松のお盆や初盆、葬式の慣習や使われる日本語について。「香典袋」「ごしゅうしょうさまです」など	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
5	平成26年9月7日 14:00～16:00	2時間	長上協働センター	15	フィリピン人6、日本人9	病院	身体の部位の名称を覚える、～科(読める)、症状を医師に伝える口頭練習	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
6	平成26年9月21日 14:00～16:00	2時間	長上協働センター	24	フィリピン人18、日本人6	交通安全	ゲスト: 浜松東警察署	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
7	平成26年10月5日 14:00～16:00	2時間	長上協働センター	5	フィリピン人4、日本人1	薬局でのクスのりの買い方	薬局で薬を買うときに使う日本語	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
8	平成26年10月19日 14:00～16:00	2時間	長上協働センター	9	フィリピン人6、日本人3	復習テスト	1回目～7回目までの復習と、自分の名前や住所を書けるか確認。	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
9	平成26年11月16日 14:00～17:00	3時間	長上協働センター	5	フィリピン人4、日本人1	給与明細の見方	ゲスト: 税理士 所得税、源泉徴収、確定申告など	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
10	平成26年11月30日 14:00～16:30	2.5時間	長上協働センター	13	フィリピン人5、日本人8	クッキング、サロサロ、修了式	クッキング…石狩ごはん・豚汁 サロサロ…長上日本語同好会を紹介した。	中村グレイス	通訳補助、高井マリ

(8) 受講者の募集方法

当会HP(<http://filipinonagkaisa.org/>)、浜松市内の主要な協働センター、HICEやU-TOC配架・掲示・郵送、ICE配架・掲示、KOKO配架・掲示、国際課配架、市民協働課配架、HGU日本語教員養成プログラム修了生一斉メール、Npocket会員一斉メール、U-TOC多文化共生会議一斉メールなど

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分) その他詳細は、別添参照

▼給与明細の見方

所得に関する税金、控除について学びました。複雑で難しい内容ですが、ゲスト講師とともに例を考えながら、算出の根拠を学びます。写真は①夫の扶養に入っている主婦の給与が、103万円超えた場合の説明／②かねてから税金に対しての疑問を熱心に質問する学習者。



▼クッキング(日本の料理を学ぶ)「石狩ごはん」「豚汁」

学習者たちは仕事で帰りが遅くなることもしばしばなので、「簡単、具材・栄養豊富」なメニューを希望していた。そこで、地元の食育サークル「はまきた食育の会」にメニュー選びから調理に至るまで協力を得て、日本の料理を学んだ。写真は豚汁のアクを取っているところ。滞在年数ながい学習者でも「(沸騰して浮いている灰汁を見て)早くゴミ取らなくちゃ」と言っていたのが印象的だった。「灰汁ですね」と食育の会の方に教えてもらっていた(オレンジのエプロン)。



(10) 目標の達成状況・成果

- 「学習チェック(毎回)」 「フリーコメント提出(毎回)」 「授業初回、最終回アンケート」(学習者と一部ボランティアに実施)
- 本取組の実施により、バイリンガル指導者が同胞のために日本の公的機関や企業、ボランティアの協力を得て、生活に必要な日本語と情報、知識を教授することができた。それにより、先輩指導者の自覚が高まるとともに、支援の受け手から後輩に支援する側になる意識がコミュニティに芽生えたことが大きな成果である。
- この教室での様々な協働体験を通して、同じ地域に暮らすフィリピン人と日本人が相互理解を深めることができた。毎回のゲスト講師として地域関係者に参加いただき、地域で暮らすフィリピン人の現状を知っていただくことにも繋がった。

(11) 改善点について

毎回回収しているフリーコメントは、学習者が自由に書きたいことを書けるよう、運営者が学習者の本音や書いてあることの真意を探ることを目的に実施した。そのため、あえて聞きたいことを操作していない(Qを提示していない)。けれども、実際には「ありがとう」「よくわかりました」というコメントが多く、具体的にどこがよかったか、また新たな要望や意見などをあまり書かない学習者もいた。もう少し詳しい内容を聞き出せるよう、質問方法を変えることも検討する。また、回答内容については翻訳者の語彙力にも影響を受けることがある。

(1) 講座名称 「バヤニハン日本語教室～みんなで地域をつくっていこう～」磐田クラス

(2) 目的・目標

バイリンガル指導者が同胞のために日本の公的機関や企業、ボランティアの協力を得て、生活に必要な日本語と情報、知識を教授する。この教室を通してフィリピン人と日本人が相互理解を深める。

「自立支援」「地域との連携、地域への還元」

「地域日本語教育において、バイリンガル指導者の重要性を発信する。そして育成する。」

「日本語教育体制の整備に協力する」

(3) 対象者 日本語レベルが入門、初級のおもにフィリピン人

(4) 開催時間数(回数) 15時間 (全5回)

(5) 使用した教材・リソース オリジナル教材

(6) 受講者の総数 13 人

出身・国籍別内訳

中国	人	インドネシア	人	
韓国	人	タイ	人	
ブラジル	人	ペルー	人	
ベトナム	人	フィリピン	13人	
ネパール	人	日本	18人	

(7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成26年7月 13日 13:30～ 16:30	3時間	上岡田自治会 集会所	12	フィリピン人9、日本 人3	自己紹介	丁寧な挨拶の仕方(「～です」⇒「と申します」)、趣味や職業を尋ねる(会話を発展させる)	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
2	平成26年7月 27日 13:30～ 16:30	3時間	上岡田自治会 集会所	6	フィリピン人4、日本 人2	電話のかけ かた	電話では自分から名乗る、会社を休むことを伝えるときはお詫びの気持ちを伝える	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
3	平成26年8月 10日 13:30～ 16:30	3時間	上岡田自治会 集会所	16	フィリピン人7、日本 人9	労働問題	労働の義務と権利について学ぶ。(よくある生活相談や、労働裁判例から、そうならないための知識を身につける)	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
4	平成26年8月 24日 13:30～ 16:30	3時間	上岡田自治会 集会所	13	フィリピン人6、日本 人7	病院	病院の予約をする、診察を受ける際の持物について	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
5	平成26年9月 14日 13:30～ 16:30	3時間	上岡田自治会 集会所	13	フィリピン人4、日本 人9	復習、サロサ ロ、修了式	復習テスト、近隣の日本語教室を知る、修了式	中村グレイス	通訳補助、高井マリ

(8) 受講者の募集方法

当会HP(<http://filipinonagkaisa.org/>)、浜松市内の主要な協働センター、HICEやU-TOC配架・掲示・郵送、ICE配架・掲示、KOKO配架・掲示、国際課配架、市民協働課配架、HGU日本語教員養成プログラム修了生一斉メール、Npocket会員一斉メール、U-TOC多文化共生会議一斉メールなど、上岡田自治会回覧板、豊島自治会一部配布

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分) その他詳細は、別添参照

▼労働問題

労働契約書にサインをする際、いくつか問題となっていることがあります。契約書が日本語のため、読めない(意味がわからない)のにサインさせられてしまうケースと、本人が契約書を処分してしまい証拠が何も残っていないことです。不当な労働を強いられて相談に来ても、契約書がないと労基署でも対応できませんので、契約書は必ず保管するように伝えました。



▼サロサロ

磐田国際交流協会の協力の下、近隣の日本語教室を紹介していただいた。(ねらい: 今後も近隣の日本語教室で日本語学習を継続してもらうため)



(10) 目標の達成状況・成果

○「学習チェック(毎回)」「フリーコメント提出(毎回)」「授業初回、最終回アンケート」(学習者と一部ボランティアに実施)

○日本語教室で勉強したことがないという人たちに対して、「日本語は生活する上で必要だ。勉強を続けていく必要がある」という意識の芽生えにつながった。

○このたび自治会の協力を得て、会場設置をした(自治会の集会所を利用)。会場を借りるにあたり、日本人住民から「あなたたち、ブラジル人じゃないの?」という質問を受けた。在住外国人が集住しているアパートがあるということを知っていても、どういった人たちが住んでいるかというところは関心が薄いようだった。今年度はまず磐田地域に「在住外国人が同じ地域に暮らしている」「ブラジル人以外も住んでいる」ということを周知することに焦点を当てたが、その課題はクリアできたものと思われる。自治会としては日本語教室に場所を提供することが初めてとのことだったが、次年度以降も当団体以外で教室として活用したいところがあれば貸しても良いと話している。

(11) 改善点について

磐田国際交流協会のご尽力の賜物で、この地区はボランティアの土壌が祖わなわっている。よって、ボランティア参加人数に恵まれた上、活動にも慣れている方が多かったので、細かい説明をせずとも気軽にご参加いただけた。いっぽう生徒の出席率は少し苦戦。派遣会社が借り上げているアパートのごく近くに教室を設置したが、日本語を覚えたほうが良いということをあまり感じていないのかもしれない。(住民のほとんどがフィリピン人、仕事も住まいも通訳対応あり、ゴミの分別もアパート管理者が行う)緊急時への備えなどを考えても、日本語を学び、地域へ溶け込むことが大事であるという啓発をしていく必要がある。

- (1) 講座名称 「バヤニハン日本語教室～みんなで地域をつくっていこう～」天竜区クラス
- (2) 目的・目標
バイリンガル指導者が同胞のために日本の公的機関や企業、ボランティアの協力を得て、生活に必要な日本語と情報、知識を教授する。この教室を通してフィリピン人と日本人が相互理解を深める。

「自立支援」「地域との連携、地域への還元」
「地域日本語教育において、バイリンガル指導者の重要性を発信する。そして育成する。」
「日本語教育体制の整備に協力する」

- (3) 対象者 日本語レベルが入門、初級のおもにフィリピン人
- (4) 開催時間数(回数) 21・5 時間 (全10回)
- (5) 使用した教材・リソース オリジナル教材
- (6) 受講者の総数 24 人

出身・国籍別内訳

中国	人	インドネシア	人
韓国	人	タイ	人
ブラジル	人	ペルー	人
ベトナム	人	フィリピン	24人
ネパール	人	日本	8人

- (7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成26年10月26日 14:00～16:00	2時間	県営浜北団地集会所	15	フィリピン人13、日本人2	自己紹介	初対面のあいさつ方法を教える。次に名前札を作成し、あいさつや簡単な自己紹介の方法を教え、実践する。	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
2	平成26年11月9日 14:00～16:00	2時間	県営浜北団地集会所	10	フィリピン人8、日本人2	問診票で使う日本語	問診票でよく聞かれることを学ぶ。	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
3	平成26年11月23日 14:00～17:00	2時間	県営浜北団地集会所	13	フィリピン人9、日本人4	市役所	入管でVISA延長の際に必要な納税証明書、課税証明書について学ぶ。	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
4	平成26年12月7日 14:00～16:00	2時間	県営浜北団地集会所	10	フィリピン人6、日本人4	復習	生活上、よく使う「ひらがな」⇒はままつしはまきたく	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
5	平成26年12月14日 14:00～16:00	2時間	県営浜北団地集会所	8	フィリピン人5、日本人3	ゴミのルール	基本的なゴミ捨てのルールを学ぶ、ゴミの分別がわからないとき、日本人に尋ねる口頭練習	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
6	平成27年1月11日 14:00～16:00	2時間	県営浜北団地集会所	6	フィリピン人5、日本人1	学校行事	日本の学制、年齢を尋ねる、学校の年間行事を知る	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
7	平成27年1月25日 14:00～16:00	2時間	県営浜北団地集会所	8	フィリピン人4、日本人4	日本の葬式	一般的な葬式・通夜の知識や日本語を学ぶ。	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
8	平成27年2月8日 14:00～16:00	3時間	県営浜北団地集会所	8	フィリピン人7、日本人1	社会保険	ゲスト:社会保険労務士	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
9	平成27年3月8日 10:00～12:00	2時間	県営浜北団地集会所	18	フィリピン人15、日本人3	防災ピクニック	避難経路の確認	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
10	平成26年11月30日 13:00～15:30	2.5時間	県営浜北団地集会所	17	フィリピン人14、日本人3	防災マップづくり、防災ほっとめーる登録、サロサ	防災ほっとめーる登録、避難経路の確認、防災マップづくり、ひなん袋の確認、近隣の日本語教室紹介、修了式	中村グレイス	通訳補助、高井マリ

- (8) 受講者の募集方法

当会HP(<http://filipinonagkaisa.org/>)、浜松市内の主要な協働センター、HICEやU-TOC配架・掲示・郵送、ICE配架・掲示、KOKO配架・掲示、国際課配架、市民協働課配架、HGU日本語教員養成プログラム修了生一斉メール、Npocket会員一斉メール、U-TOC多文化共生会議一斉メールなど

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分) その他詳細は、別添参照

▼ひらがな

教材作成検討委員会により、五十音順ではなく、学習者の生活に必要な順番から文字を覚えることにした。(詳細は教材に掲載)

▼社会保険

給与明細の見方や、日頃給与について疑問に感じていることなどについて講師に質問しながら学習した。学習者は自分のわからない内容や質問だったので、自発的に学ぶ姿勢に繋がった。



(10) 目標の達成状況・成果

- 「学習チェック(毎回)」「フリーコメント提出(毎回)」「授業初回、最終回アンケート」(学習者と一部ボランティアにも実施)
- 自治会の協力を得て、集会所を借りることが出来た。本来、「団地所有の建物のため、団地住民にしか貸せない」とのことだったが、色々な働きかけがあり「団地周辺住民も参加可能」ということになった。そのために当団体としても団地から信頼を得る必要があり、兼ねてからお世話になっている行政書士村松様に借用書を作成していただき、団地と関係を取り交わすことができた。結果、日本語教室に否定的または無関心だった自治会も「日本語教室は団地の抱えている在住外国人住民とのコミュニケーションの解決のきっかけになる」という気づきを得て、「次年度も鍵を貸すので教室を継続して欲しい」と要望をしている。これについては団地住民がフィリピン人だけではないため、浜松市国際課や浜松国際交流協会に相談し、次年度以降の事業の襷を渡すことが出来た。その事業に当スタッフがノウハウ等で連携、協力していく。
- 税金、社会保険といったテーマが大変好評だった。この団地は家族、親族ぐるみで集住しており、一つの家族に対して人数が多い特徴がある。よって、「労働」「給与」「扶養手当」「税金」「保険」といった内容は、生活に密着している。ところがこれらの内容に関して、わかりやすく教えてくれるところや資料がなかったため、知人の噂で情報収集している人が多かった。自分の労働契約や労働の対価、それがどのように税金や保険に使われ、日本での生活する上でルールを守ることを啓発することが出来た。また、感想からも納付に関する理解が得られたものと確信している。
- また、社会保険の話を通して「正しい知識と見抜く力」を得て、不正な会社には勤めない流れができるとよい。

(11) 改善点について

「防災ほっとめーるの登録」この作業は想定外のことが多く、難航した。

- ①「サービスは多言語」としながらも、登録は日本語でしかできない。よって、このクラスで登録作業を行った。(全員強制)
- ②学習者は全員スマホ
- ③文字入力アルファベットのみ(検索で「浜松市防災ほっとめーる」という入力ができない)
- ④QRコードの読み取り方を知らない(支援者側も、学習者のスマホの使い方がわからない)
- ⑤チェック項目過程が、わかりづらい。

在住外国人の持つ端末の状況を踏まえたサービスにしないと、使いこなせる人が出てこない。⇒浜松市に昨年も報告したが改善されていない。改めて上記①～⑤の経過をまとめて、改善を求める。(システムを変更するのに資金がかかるとのこと。)

(1) 講座名称 「バヤニハン日本語教室～みんなで地域をつくっていこう～」湖西クラス

(2) 目的・目標

バイリンガル指導者が同胞のために日本の公的機関や企業、ボランティアの協力を得て、生活に必要な日本語と情報、知識を教授する。この教室を通してフィリピン人と日本人が相互理解を深める。

「自立支援」「地域との連携、地域への還元」

「地域日本語教育において、バイリンガル指導者の重要性を発信する。そして育成する。」

「日本語教育体制の整備に協力する」

(3) 対象者 日本語レベルが入門、初級のおもにフィリピン人

(4) 開催時間数(回数) 12.5時間 (全5回)

(5) 使用した教材・リソース オリジナル教材

(6) 受講者の総数 13人

出身・国籍別内訳

中国	人	インドネシア	人
韓国	人	タイ	人
ブラジル	人	ペルー	人
ベトナム	人	フィリピン	13人
ネパール	人	日本	5人

(7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成26年7月 13日 13:30～ 16:30	2.5 時間	上岡田自治会 集会所	7	フィリピン人4、日本 人3	自己紹介	丁寧な挨拶の仕方(「～です」⇒「と申します」)、趣味や職業を尋ねる(会話を発展させる)	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
2	平成26年7月 27日 13:30～ 16:30	2.5 時間	上岡田自治会 集会所	5	フィリピン人3、日本 人2	電話のかけかた	「お世話になっています」、電話で会社を休む理由を伝える	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
3	平成26年8月 10日 13:30～ 16:30	2.5 時間	上岡田自治会 集会所	12	フィリピン人10、日本 人2	社会保険、年金への加入	ゲスト:社会保険労務士	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
4	平成26年8月 24日 13:30～ 16:30	2.5 時間	上岡田自治会 集会所	8	フィリピン人7、日本 人1	工場で使う言葉や心構え	報告、連絡、相談の意義を学ぶ。	中村グレイス	通訳補助、高井マリ
5	平成26年9月 14日 13:30～ 16:30	2.5 時間	上岡田自治会 集会所	10	フィリピン人8、日本 人2	復習、サロサロ、修了式	復習テスト、近隣の日本語教室を知る、修了式	中村グレイス	通訳補助、高井マリ

(8) 受講者の募集方法

当会HP(<http://filipinonagkaisa.org/>)、浜松市内の主要な協働センター、HICEやU-TOC配架・掲示・郵送、ICE配架・掲示、KOKO配架・掲示、国際課配架、市民協働課配架、HGU日本語教員養成プログラム修了生一斉メール、Npocket会員一斉メール、U-TOC多文化共生会議一斉メールなど

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分) その他詳細は、別添参照

▼工場がよく使う言葉

学習者から、「もともと製品や機械にトラブルがあったけれど、日本語でうまく伝えられないから黙っていた。ところが後に、発覚して自分のせいになってしまった。こういうとき、日本語でなんと伝えればいいか」という質問をもとに、講師を招聘した。



▼サロサロ

湖西国際交流協会の協力の下、「湖西にほんごカフェ」を見学した。授業後、親睦を深めるための交流会も行った。(ねらい:今後も近隣の日本語教室で日本語学習を継続してもらうため)



(10) 目標の達成状況・成果

○「学習チェック(毎回)」 「フリーコメント提出(毎回)」 「授業初回、最終回アンケート」(学習者と一部ボランティアに実施)
○滞在年数の長い人が、自然とこの地区のリーダーのような存在になり教室運営や終了後の学習継続に尽力してくれた。(教室終了後の翌週から、同じ日時開催の「湖西にほんごカフェ」へ、自身の勉強継続とあわせて日本語初級者を連れて行き、通訳のようなこともしてくれている。そのことをまた、当会に報告を上げたりしてくれている)こうした人を「バイリンガル指導者として育成していく」ことが今後の課題となる。
○学習者同士の結束が固く、「学習の継続」を励ましあいながら行っている。日本語学習に対して非常に意欲的なクラスだったので、運営者としても手をかけることは少なく運営できた。

(11) 改善点について

立ち上げ当時は心配していた出席人数だが、中盤から安定して10名弱が参加。生活に密着ではなく、「直結」しているテーマが出席率にも繋がることがよく分かった。今後も日本語を学ぶ+情報提供の日本語教室をさらに確立していき、地域のモデルクラスとして提案していく。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

- (1) 講座名称 バイリンガル指導者、日本語ボランティア養成講座～みんなで地域をつくっていこう～
 (2) 目的・目標
 (3) 対象者
 (4) 開催時間数(回数) 33時間 (全12回)
 (5) 使用した教材・リソース
 (6) 受講者の総数 66 人

出身・国籍別内訳

中国	人	インドネシア	人
韓国	人	タイ	人
ブラジル	人	ペルー	1人
ベトナム	人	フィリピン	9人
ネパール	人	日本	56人

(7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成26年 6月21日	2時間	西部協働センター	6	フィリピン人5、 日本人1	パソコン	指導者のためのパソコンスキルアップ	平原エテル	—
2	平成26年 6月23日	2時間	南部協働センター	3	フィリピン人2、 日本人1	日本語の教え方	バイリンガル講師の長所と短所、学習者のニーズ分析	松本三知代	—
3	平成26年 6月30日	2時間	南部協働センター	4	フィリピン人3、 日本人1	日本語の教え方	教案づくり グループワーク	松本三知代	—
4	平成26年 8月4日	3時間	南部協働センター	5	フィリピン人4、 日本人1	日本語の教え方	教案づくり グループワーク	松本三知代	—
5	平成26年 8月5日	3時間	南部協働センター	29	フィリピン人5、 日本人1日本人24	フィリピン人青年支援について、在住フィリピン人	フィリピン人青年支援について、在住フィリピン人について	松本義一 中村グレイス	—
6	平成26年 8月6日	3時間	南部協働センター	5	フィリピン人4、 日本人1	日本語の教え方	教案づくり グループワーク	松本三知代	—
7	平成26年 8月9日	3時間	南部協働センター	7	フィリピン人5、 日本人2	パソコン	指導者のためのパソコンスキルアップ	平原エテル	—
8	平成26年 8月11日	3時間	南部協働センター	5	フィリピン人4、 日本人1	日本語の教え方	教案づくり グループワーク	松本三知代	—
9	平成26年 8月22日	3時間	南部協働センター	5	フィリピン人4、 日本人1	日本語の教え方	教案づくり グループワーク	松本三知代	—
10	平成26年 11月29日	3時間	南部協働センター	32	フィリピン人4、 日本人28	在住外国人を取り巻く環境への理解	入管、高齢化等今後の課題	村松正利	—
11	平成26年 2月11日	3時間	南部協働センター	27	フィリピン人5、 日本人25	バイリンガル指導者の作成した教材について	指導者のスキルアップ、学習者のニーズ分析と学習意欲を引き出すコツ等	金田智子	—
12	平成26年 3月14日	3時間	南部協働センター	26	フィリピン人5、 日本人21	在住外国人と距離を縮めるトレーニング	やさしい日本語についてペアワーク	清 ルミ	—

(8) 受講者の募集方法

当会HP(<http://filipinonagkaisa.org/>)、浜松市内の主要な協働センター、HICEやU-TOC配架・掲示・郵送、ICE配架・掲示、KOKO配架・掲示、国際課配架、市民協働課配架、HGU日本語教員養成プログラム修了生一斉メール、Npocket会員一斉メール、U-TOC多文化共生会議一斉メールなど

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

▼8月5日(講師:中村グレイス、松本義一)

フィリピンナガイサの活動を通して、学習者の来日背景や特性を地域の日本語支援者に説明した。当地域の日本語支援者と意見、情報を交わすことができた。



▼11月29日(講師:村松正利)

入管での判断は行政裁量によるところが大きい、そのため日頃の真面目な生活態度が大切ということが話された。また、高齢化に伴う諸問題についても今後の課題であるという提唱がなされた。

(10) 目標の達成状況・成果

参加者の所属(日頃、どういった活動をしているか、背景)を申し込み時に確認し、講座内容や今後の連携の参考とした。また、アンケートをおこなったが、それぞれのお立場やご所属に即した回答が得られた。

(11) 改善点について

募集期間にもう少しゆとりを持って行うべきだった。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

(1) 教材名称 バヤニハン日本語教室～みんなで地域をつくっていこう～オリジナル教材

(2) 対象 日本語レベル初級のフィリピン人

(3) 目的・目標

地域の実情や、在住外国人の生活に密着した内容を取りあげること。翻訳を入れて長く使えるものを残すこと。

(4) 約250ページ

(5) 教材作成会議の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年 6月9日 14:00～ 17:00	3時間	南部協働センター	金田智子、半場和美、中村グレイス、高井マリ、鈴木エバ、山浦優子	教材の構成について	教材の構成について
2	平成26年 11月24日 14:00～ 17:00	3時間	南部協働センター	金田智子、半場和美、中村グレイス、高井マリ、鈴木エバ、山浦優子	ひらがな、カタカナの教え方	五十音順ではなく、学習者にとって必要な文字から教えること
3	平成27年 1月19日 14:00～ 17:00	3時間	南部協働センター	金田智子、半場和美、中村グレイス、高井マリ、鈴木エバ、山浦優子	ひらがな、カタカナの教え方について報告	

(6) 使い方 バイリンガル指導者が運営する教室で採用する。

(7) 具体的な活用例 用語説明、講話、ロールプレイ、日本語表現の確認

(8) 成果物の添付 フィリピンナガイサホームページに掲載 <http://filipinonagkaisa.org/text-book/>

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

1. 自立支援

静岡県西部地域に在住するフィリピン人の生活が安定し、よりよい暮らしができることを目指す。

2. 地域との連携、地域への還元

教室は、フィリピン人にとっては日本語を学び、そして近隣に住む日本人と交流を深める場とする。いっぽう日本人においては、異文化理解を促す場とする。双方が安心して暮らしやすい地域をつくることを実現するために企業や行政、関係諸機関等と連携を図り、生活に必要な日本語、情報提供、相談等、独自の日本語教室を多角的に展開する。社会に対して「地域の課題に取り組む意義」を提唱し、教室活動で得られた成果を地域に還元していく。

3. 地域日本語教育において、バイリンガル指導者の重要性を発信する。そして育成する。

日本語能力が高く、日本文化にも理解のある者をバイリンガル指導者として位置づけ、地域の一員という立場を確立していく。その存在は日本社会との架け橋となるばかりでなく、指導者たちの「同胞のために」という信念は自助努力とコミュニティの自立を促すことに期待が持てる。その役割の重要性から、バイリンガル指導者育成を継続することも使命とする。

4. 日本語教育体制の整備に協力する

教室事業は初級レベルの在住フィリピン人を対象とする。当クラスは学習者にとって日本語を学ぶ入り口であり、修了時には「日本語学習を継続することの必要性」を説く。そのために、同地域内の日本語教室と連携を図り、日本語教育体制の整備の一助となるよう協力する。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

- 連携先が増えたこと。(とくに人材育成講座への申込者の層に厚みを増した)
- 自治会との連携(教室会場に自治会を選んだことで、その地域特有の実情に沿った、課題解決のための教室を展開できた。)
- こうした教室運営に関わることでスタッフが自己研鑽し、活動を通してそれぞれに専門、得意分野ができた。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

教材作成時に講師が参考にして、オリジナル教材を作成する。

取りあげるテーマについて、生活上の行為の事例を参考にしている。

指導評価については、チェック項目が細かいのでバイリンガル指導者にはハードルが高い。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

<連携の内容>

- ① 広報の協力依頼(日本語教室・人材育成講座の受講者やボランティア募集)
 - ② 当事業の日本語教室や人材育成講座への受講(その後、連絡を継続中)
 - ③ 講師派遣依頼(日本語教室、人材育成事業)
 - ④ 委員派遣依頼(運営委員会、教材作成検討委員会)
 - ⑤ 学習者の情報を共有(ある学習者が地域の別の教室にも通っているケース)
 - ⑥ 会場手配にかかる交渉(公民館や自治会、国際交流協会等)
 - ⑦ 会場契約にかかる借証書の作成(行政書士)
 - ⑧ 活動の成果等を報告、共有(県多文化共生室や各市国際課、国際交流協会等)
 - ⑨ 当事業の活動を新聞やホームページで見て、問合せを受けた。
 - ⑩ 当人材育成講座で招聘したゲストの略歴を見て、その講師を紹介して欲しいという問合せを受けた。
 - ⑪ 会計監査として協力(会計事務所)
 - ⑫ 日本語教室活動の相談
 - ⑬ 在住外国人との共生について、自治会から相談を持ちかけられた。
- 等

下記のみなさまに、当事業に係る会場確保、広報、ゲスト講師派遣、生徒や事業内容の相談等、さまざまなご協力を賜りました。(五十音順、敬称略)

いとうきか 行政書士事務所
磐田国際交流協会(ICE)
磐田市上岡田自治会
FM Haro! 76.1
NPO法人 浜松外国人子ども教育支援協会
株式会社 イズモデン
株式会社 杏林堂
学習院大学文学部日本語日本文学科
学校法人 静岡理工科大学 浜松日本語学院
行政書士 齋藤彰事務所
県営浜北団地
湖西にほんごカフェ
湖西国際交流協会(KOKO)
公益財団法人 浜松国際交流協会(HICE)
静岡文化芸術大学
静岡県企画広報部多文化共生課
静岡県警(浜松中央警察署、浜松東警察署、浜北警察署)
静岡県国際交流協会(SIR)
社会福祉法人 天竜厚生会
社会福祉法人 浜松市 社会福祉協議会
セルヴィツォー ブラジルレストラン
税理士法人 祖父江会計事務所 黎明
静岡県ベトナム人協会
静岡県立大学 国際関係学部
第一伊藤建設株式会社
中部ガス株式会社
常葉大学外国語学部
特定非営利活動法人 日本語教育ボランティア協会(ジャボラNPO)
特定非営利活動法人 浜松NPOネットワークセンター(N-Pocket)
特定非営利活動法人 浜松日本語・日本文化研究会(にほんごNPO)
なゆた浜北
長上地区子ども講座
長上日本語同好会
長尾小児科医院
はまきた食育の会
浜北文化センター
浜松市 各協働センター(南部、長上、浜名、西部、アイミティ浜松)
浜松市 企画調整部 国際課
浜松市 教育委員会
浜松市 健康医療部 健康増進課
浜松市 財務部 市民税課
浜松市 財務部 税務総務課
浜松市 市民協働・地域施策課
浜松市消防局(中消防署、浜北消防署、東消防署)
浜松市 多文化共生事業実行委員会
浜松市 浜北区役所 長寿保険課
浜松学院大学現代コミュニケーション学部
浜松学院大学日本語教員養成プログラム修了生
浜松市外国人学習支援センター(U-Toc)
浜松綜合法律事務所
浜松レクリエーション吹矢連盟
ハローワーク浜松
ヒューマンアカデミー株式会社
ボランティアのみなさま
村松正利 行政書士事務所
有限会社 伸栄総合サービス

<連携により得られた成果>

※ 連携により得られた成果とは、「学習者の学習ニーズ、要望を連携まで高めた結果得られたもの」と考えている。

・これまで20年近く、独自事業としても日本語教室を行ってきた経験から、「緊急性の高いもの」「安全、健康」といった内容に学習ニーズに要望が高いことがわかっていった。ところがここ数年、在住フィリピン人の来日背景の多様化から、「入管に関わること」「労働に関すること」「給与に関すること」はとくに日常的に密着しており、多くの相談や質問が寄せられていた。実際には、こうした内容を日本語教室のテーマに取り上げることが難しいところがあり試行錯誤の道を辿ることになった。(難しいというのは内容が専門的だったということと、情報提供のみにならないことへの配慮の点。日本語教室の側面は逸脱せずに運営すること。)

・入管に関わること、税金、保険のゲスト講師を招聘するにあたり、運営者側も「学習者の真のニーズを探ること(なぜ、そのテーマを学びたいのか)」「ゲスト講師と打ち合わせをするために、専門的内容についての基礎的な知識」「学習者に通訳、翻訳するために専門的内容の下調べをしておくこと」が必要となった。よって、各々が知識を学び、スキルアップをしていくことになった。結果、本事業のコーディネーターや指導者、通訳者は「滞在年数が長ければ誰でもできる」「経験があれば誰でも出来る」というものではなく、地域の実情や課題を自ら見つけ、努力を惜しまず自己研鑽していける者が残り、成長していった。

・広報先を増やし、広報手段も増やし(紙媒体、ホームページ、フェイスブック、メール配信、クチコミ等)、フィリピン人コミュニティの特性や存在を多く知っていただくことで、協力者や理解者が増えた。また、協力者が新たな協力者を呼んでくれたことも力になっている。人材育成講座への受講や、日本語教室へのボランティア参加について、知人を伴って来る方も多かった。

・磐田と湖西について、私たちは活動の基盤、土壌を持っていなかったため、各国際交流協会職員を運営委員にお招きし、協力をお願いした。結果、その地区で既に築かれている横の連携やボランティアに活動を助けられた。

・ボランティアには負担がかからないよう、「1回完結型」での参加を可能としている。結果、日本語教育経験を問わず近隣住民の幅広い層に参加していただけてきた。年度をまたぎ、参加の継続をしていただいているボランティアさんも多く、教室や学習者の特性を理解した上でご参加いただいているので、運営の上でも助けになっている。

・会場を借りる上で関係を持った自治会から、フィリピン人に限らない在住外国人全般との共生について相談をもちかけられた。自治会で起きている共生に関する諸問題について、解決の糸口を見つけられず何年も放置されていたのだそうだ。国際課や国際交流協会等にも相談を持ちかけ、自治会と直接連携を持って新たな活動をしていただけることになった。27年度に数回、浜松国際交流協会が自治会において事業を主催することが決まった。内容は、地域交流に関するイベントや在住外国人向けの情報提供講座であり、当会スタッフも協力することになっている。

・ふだん、日本語教室とは縁が薄い行政関係者や専門家を日本語教室のゲストに招聘することは、学習者にとって情報提供、その場面で使われる日本語を学ぶといった側面を持ついっぽうで、ゲスト側の認識や意識の変化が見られることもある。たとえば、「この伝え方や表現、用意してきた資料では在住外国人には伝わりにくい」といった体験が、次につながることもある。とくに消防、警察の内容は毎年取り扱っており、教室設置会場により管轄が変わる。2年連続お願いした地区では、先方の担当者が変わって不安に思っていたところ「前の担当者から聞いています」と引継ぎされていたこともあり、充実した内容で授業展開することができた。反対に新しい地区では外国人向けへの教授が不慣れなため、私たちのほうで「前に他の管轄地区で、こういう内容をしてもらいました」という資料提供をすることもある。その点において、私たちも経験を積み、テーマによっては準備に負担がかからなくなってきた。また、万が一ゲストの講話に補足したいことがあるとき、フォローのノウハウもあるので自信を持ち、対応できるようになった。

<今後は>

・これまで散在する実情において、スタッフの負担がかなり大きかった現状がある。よって、連携により得た信頼関係から、協力を要請できる内容については依頼していく。

・人材育成事業を通して、当団体の強みは「生活者としての外国人の情報(来日背景、生活環境等)を持っている」ということが明確になった。支援者を対象とした講座として、今後は国際交流協会等に講座の企画を持ち込み、開催していく予定である。27年度は既に開催が決まっている。

・活動に追われており、ホームページや会報へ十分は時間をかけられずにいた。会員や日本語教室受講者に対して、こういったツールもケアしていくことで、これまで築いてきた連携先との絆を繋ぎとめていきたいと考えている。そして団体が自立した活動を続けるためにも賛同を得て、新たな会員獲得をしていくことも必要である。近年、ホームページから当団体への問合せも増えている。活動を通じ、こまめに報告を更新することも心がけたい。

・活動を通して得られた課題を対処する時間もないまま、次の課題に取り組んできた。次年度はこれまで活動で得られた内容を改めて振り返り、検証し、地道な活動につなげていきたいと考えている。

・それぞれの機関や人との連携の確立に至る経緯を振り返り、形に残していく作業を進めていくつもりである。散在している課題に対して、地域日本語コーディネーターとバイリンガル指導者の人数不足を感じている。コーディネーターとバイリンガル指導者の協働についてノウハウを持っていることを当会の強みとするいっぽう、活動の足跡を残し伝えていくことで、新たな人材発掘と育成に貢献したいと考えている。

(5) 改善点、今後の課題について

- 在住外国人の定住、高齢化…どのように余生を暮らすかを考えておく必要がある。
- 次世代バイリンガル指導者の育成
- …日本で教育を受けた子どもが大人になり、日比の架け橋となる人材育成を／同じフィリピンでも圧倒的に増加傾向にあるビサヤ語に対応できるスタッフの育成
- 地域日本語教育コーディネータの発掘、育成
- 在日フィリピン人の悩みを解決し、日本語学習の継続を促す教室の展開。

(1) 労働基準法

契約書にサインはするが、契約書に書かれている意味がわからない。(契約書が日本語という会社もある)結果、不当な労働契約を強いられていることがある。けれども契約書の重要性がわからず、もらっていない、または処分してしまう人もいたので泣き寝入りしているケースもある。

(2) 子どもの教育制度

日本の学校の仕組み、慣習、ルールなどがわからない。
フィリピンには入学式、家庭訪問、三者面談、授業参観会、引渡し訓練、避難訓練などがない。

(3) 医療

- ・症状をうまく伝えられない。
- ・日本語が書けない、読めない。(問診票など、病院で書かなければならない事態になったとき)
- ・入院時の生活が、わからない。
- ・手術を受ける場合は、医師の説明がわからない。

(4) 保険と税金

- ・派遣会社と短期契約のため、社会保険に入れてもらえなくて困っている。(保険に入らないと、様々なサービスが受けられない上、入管でも不利になる)
- ・給与が少ないので税金が払えない。

(5) さまざまな申告書等、重要書類の書き方

- ・転居を繰り返すので、住所を覚えられない。また、住所の漢字の読み書きができない。
- ・子どもの学校関係の書類が読めない、書けない。
- ・病院で受けられる様々な制度の申請書がわからない。
- ・市役所で必要書類を出したいときの申込書が書けない。
- ・労働契約書などの契約書が読めない。

※読み書きできないというだけでなく、たとえば必要書類はどこへ行けばもらえるか、必要書類を書くための持物は何か(印鑑、委任状等)一連の工程がわからない場合、相談する場所がない。わかりやすく示してある指南書のようなものがない。こうした内容はケースバイケース、個人によって対応が違うこともあるので翻訳資料だけではカバーできない。改善の道を探す必要がある。

※県立高校入学のしおりについて…合格発表から入学式までの短い期間で、一気に様々な書類を書くように指示されるが資料が読めない、書けない。また、入学に伴う関係書類を行政から引き出したり(就学支援金を受けるための課税証明書)、入学前に健診を受けたり、銀行開設をしなくてはならない。一見高校支援は文科省、各県教委の管轄とも取れるが、保護者が動かなければならないところはこの「生活者としての外国人」のための日本語教育でやっていることに通じると感じた。今後も、子どもを育てている保護者に対しての働きかけを行っていく。

(6) その他参考資料

- 日本語教室チラシ(生徒募集、ボランティア募集)
- 人材育成講座チラシ
- 名簿…公開不可
- 日本語教室の学習者アンケート集計(初回、最終回)、日本語教室のボランティアアンケート集計(初回、最終回)
- 日本語教室の学習者、ボランティアの毎回のフリーコメント(感想やご意見など)
- 人材育成アンケート集計
- 運営委員会資料と議事録(第1回～3回)
- 教材作成検討委員会の議事録
- 新聞記事(平成26年8月6日中日新聞、平成26年9月23日中日新聞、平成26年11月28日中日新聞、平成27年1月29日静岡新聞、平成27年2月8日中日新聞)…郵送にて提出
- 【参考資料】フィリピン人青年の進路支援のあり方 課題と取組ー特定非営利活動法人フィリピンナガイサの活動からー(松本)
- 【参考資料】日本に暮らしているフィリピン人について(中村)
- 【報告書】BAYANIHAN ～みんなで地域をつくっていこう～バイリンガル指導者と協働し、学習者のニーズとともに歩む教室、地域連携の実践(半場)



平成26年度文化庁委託事業

バヤニハン日本語教室 ～みんなで地域をつくっていこう～

この教室では、フィリピン人バイリンガル講師が「生活に密着した場面」を取り上げて、日本語を教えます。また、日本の文化、ルール、マナーなどについてもいっしょに考えます。

長上協働センター

(浜松市東区)

7月06 & 20日, 8月03 & 31日,
9月07 & 21日, 10月05 & 19日,
11月16 & 30日

午後2時～4時

日本語を学びたい人
集まれ!!

上岡田公会堂

(磐田市上岡田)

7月13 & 27日, 8月10 & 24日,
9月14日 午後1:30～4:30

県営浜北団地 集会場

(浜北区上島 2345-100)

10月26日, 11月09 & 23日,
12月07 & 14日, 1月11 & 25日,
2月08日, 3月08日

午後2時～4時

湖西国際交流協会

(湖西市鷺津 1239-4)

2015年 1月18日,
2月01 & 22日, 3月01 & 15日,
午前9:45～午後12:15



★期間・場所は変更になる場合があります。
事前にお問い合わせください。

ORGANIZER : NPO FILIPINO NAGKAISA

Tel 080-4308-8380 (Nihongo・Tagalog) <http://filipinonagkaisa.org/>

▼バヤニハン日本語クラス (topic)

東区 Nagakami	1	Jul. 06	オリエンテーション じこしょうかい
	2	Jul. 20	でんわ
	3	Aug. 03	がっこうの おたより
	4	Aug. 31	おそうしき
	5	Sep. 07	びょういん
ゲスト	6	Sep. 21	こうつうあんぜん
	7	Oct.05	やっきょく
	8	Oct. 19	ふくしゅうテスト、じゅうしょを かく
ゲスト	9	Nov. 16	きゅうよめいさい の みかた
ゲスト	10	Nov. 30	クッキング、サロサロ、修了式
磐田 Iwata	1	Jul. 13	オリエンテーション じこしょうかい
	2	Jul. 27	でんわ
ゲスト	3	Aug. 10	ろうどうもんだい
	4	Aug. 24	びょういん
	5	Sep. 14	サロサロ 修了式 こうりゅうかい
天竜 Tenryu	1	Oct. 26	オリエンテーション じこしょうかい
	2	Nov. 09	やっきょく
ゲスト	3	Nov. 23	しゃくしょ (のうぜいしょうめいしょ)
	4	Dec. 07	かいもの
	5	Dec. 14	ゴミのルール
	6	Jan. 11	がっこうの ぎょうじ
	7	Jan. 25	おつや おそうしき
ゲスト	8	Feb. 08	しゃかいほけん、こくみんほけん
	9	Mar. 08 AM	じしん、ぼうさいピクニック
	10	Mar. 08 PM	ぼうさいマップ、サロサロ 修了式
湖西 Kosai	1	Jan.18	オリエンテーション じこしょうかい
	2	Feb. 01	でんわのマナー
ゲスト	3	Feb. 22	しゃかいほけん こくみんほけん
	4	Mar. 01	しごとのコミュニケーション
ゲスト	5	Mar. 15	サロサロ 修了式



平成 26 年度文化庁委託事業

バヤニハン日本語教室 ～みんなで地域をつくっていこう～

日本語教室の ボランティア大募集!!

おねがいしたいことは…

- ★学習者の隣に座ってもらう。
- ★日本語で話しかけてもらう。
- ★学習者のノートを見てもらう。

この教室では、日本滞在年数の長いフィリピン人のバイリンガル講師が、来日して間もないフィリピン人に日本語や日本文化、ルール、マナー等を教えています。そこで、学習者に寄り添ってサポートをする日本人の“おしゃべりボランティア”を募集しています。同じ地域に住む外国人と「友達の輪」を広げてみませんか。



おいしく焼けたかな



「こんにちは!」「はじめまして!」



漢字で住所を書くのは難しいね

日時 日曜日 全10回 午後 2:00～4:00

10月26日, 11月9日&23日, 12月7日&14日

1月11日&25日, 2月8日, 3月8日(午前・午後)

場所 県営浜北団地 集会場(浜北区)

浜松市浜北区上島 2345-100

★期間・場所に変更になる場合があります。事前にお問い合わせください。

★湖西市で開催する教室でも、おしゃべりボランティアを募集しております。

主催：NPO法人フィリピンナガイサ

Tel 080-3671-8380 (日本語) <http://filipinonagkaisa.org/>



平成26年度文化庁委嘱事業

バヤニハン日本語教室 ～みんなで地域をつくっていこう～

日本語教室の ボランティア大募集!!

お手伝いの内容

- ★学習者の隣に座ってもらう。
- ★日本語で話しかけてもらう。
- ★学習者のノートを見てもらう。

この教室では、日本滞在年数の長いフィリピン人のバイリンガル講師が、来日して間もないフィリピン人に日本語や日本文化、ルール、マナー等を教えています。そこで、学習者に寄り添ってサポートをする日本人の“おしゃべりボランティア”を募集しています。同じ地域に住む外国人と「友達の輪」を広げてみませんか。



おいしく焼けたかな



「こんにちは!」「はじめまして!」



漢字で住所を書くのは難しいね

日時 日曜日 全5回 午前9:45～午後12:15

1月18日、2月1日&22日

3月1日&3月15日

場所 湖西国際交流協会 鷺津駅前 湖西市鷺津1293-4

★期間・場所は変更になる場合があります。事前にお問い合わせください。

★その他、**浜松市東区・天竜区、磐田市**でも募集しています。お問合せください。

主催：NPO法人フィリピンナガイサ

Tel 080-3671-8380 (日本語) <http://filipinonagkaisa.org/>



平成26年度文化庁委嘱事業

バヤニハン日本語教室 ～みんなで地域をつくっていこう～

日本語教室の ボランティア大募集!!

お手伝いの内容

- ★学習者の隣に座ってもらう。
- ★日本語で話しかけてもらう。
- ★学習者のノートを見てもらう。

この教室では、日本滞在年数の長いフィリピン人のバイリンガル講師が、来日して間もないフィリピン人に日本語や日本文化、ルール、マナー等を教えています。そこで、学習者に寄り添ってサポートをする日本人の“おしゃべりボランティア”を募集しています。同じ地域に住む外国人と「友達の輪」を広げてみませんか。



おいしく焼けたかな



「こんにちは!」「はじめまして!」



漢字で住所を書くのは難しいね

日時 日曜日 全10回 午後2:00～4:00

7月6&20日, 8月3&31日, 9月7&21日,
10月5&19日, 11月16&30日

場所 長上協働センター（東区） 浜松市東区市野町2620-1

★期間・場所は変更になる場合があります。事前にお問い合わせください。

★お子様連れでのご参加も可能です。

★その他、**浜松市天竜区、磐田市、湖西市**でも募集しています。お問合せください。

主催：NPO法人フィリピンナガイサ

Tel 080-3671-8380（日本語） <http://filipinonagkaisa.org/>



平成26年度文化庁委嘱事業

バヤニハン日本語教室 ～みんなで地域をつくっていこう～

日本語教室の ボランティア大募集!!

お手伝いの内容

- ★学習者の隣に座ってもらう。
- ★日本語で話しかけてもらう。
- ★学習者のノートを見てもらう。

この教室では、日本滞在年数の長いフィリピン人のバイリンガル講師が、来日して間もないフィリピン人に日本語や日本文化、ルール、マナー等を教えています。そこで、学習者に寄り添ってサポートをする日本人の“おしゃべりボランティア”を募集しています。同じ地域に住む外国人と「友達の輪」を広げてみませんか。



おいしく焼けたかな



「こんにちは!」「はじめまして!」



漢字で住所を書くのは難しいね

日時 日曜日 全5回 午後1:30～4:30

7月13&27日, 8月10&24日

9月14日

場所 磐田市上岡田地区 上岡田公会堂 磐田市上岡田 750-1

★期間・場所に変更になる場合があります。事前にお問い合わせください。

★その他、**浜松市東区・天竜区、湖西市**でも募集しています。お問合せください。

主催：NPO法人フィリピンナガイサ

Tel 080-3671-8380 (日本語) <http://filipinonagkaisa.org/>



平成26年度文化庁委嘱事業

バヤニハン日本語教室 ～みんなで地域をつくっていこう～

日本語教室の ボランティア大募集!!

お手伝いの内容

- ★学習者の隣に座ってもらう。
- ★日本語で話しかけてもらう。
- ★学習者のノートを見てもらう。

この教室では、日本滞在年数の長いフィリピン人のバイリンガル講師が、来日して間もないフィリピン人に日本語や日本文化、ルール、マナー等を教えています。そこで、学習者に寄り添ってサポートをする日本人の“おしゃべりボランティア”を募集しています。同じ地域に住む外国人と「友達の輪」を広げてみませんか。



おいしく焼けたかな



「こんにちは!」「はじめまして!」



漢字で住所を書くのは難しいね

日時 日曜日 全5回 午前9:45～午後12:15

1月18日、2月1日&22日

3月1日&3月15日

場所 湖西国際交流協会 鷺津駅前 湖西市鷺津1293-4

★期間・場所は変更になる場合があります。事前にお問い合わせください。

★その他、**浜松市東区・天竜区、磐田市**でも募集しています。お問合せください。

主催：NPO法人フィリピンナガイサ

Tel 080-3671-8380 (日本語) <http://filipinonagkaisa.org/>



平成26年度文化庁委嘱事業

バヤニハン日本語教室 ～みんなで地域をつくっていこう～

日本語教室の ボランティア大募集!!

お手伝いの内容

- ★学習者の隣に座ってもらう。
- ★日本語で話しかけてもらう。
- ★学習者のノートを見てもらう。

この教室では、日本滞在年数の長いフィリピン人のバイリンガル講師が、来日して間もないフィリピン人に日本語や日本文化、ルール、マナー等を教えています。そこで、学習者に寄り添ってサポートをする日本人の“おしゃべりボランティア”を募集しています。同じ地域に住む外国人と「友達の輪」を広げてみませんか。



おいしく焼けたかな



「こんにちは!」「はじめまして!」



漢字で住所を書くのは難しいね

日時 日曜日 全10回 午後2:00～4:00

7月6&20日, 8月3&31日, 9月7&21日,
10月5&19日, 11月16&30日

場所 長上協働センター（東区） 浜松市東区市野町2620-1

★期間・場所に変更になる場合があります。事前にお問い合わせください。

★お子様連れでのご参加も可能です。

★その他、**浜松市天竜区、磐田市、湖西市**でも募集しています。お問合せください。

主催：NPO法人フィリピンナガイサ

Tel 080-3671-8380（日本語） <http://filipinonagkaisa.org/>



平成26年度文化庁委嘱事業

バヤニハン日本語教室 ～みんなで地域をつくっていこう～

日本語教室の ボランティア大募集!!

お手伝いの内容

- ★学習者の隣に座ってもらう。
- ★日本語で話しかけてもらう。
- ★学習者のノートを見てもらう。

この教室では、日本滞在年数の長いフィリピン人のバイリンガル講師が、来日して間もないフィリピン人に日本語や日本文化、ルール、マナー等を教えています。そこで、学習者に寄り添ってサポートをする日本人の“おしゃべりボランティア”を募集しています。同じ地域に住む外国人と「友達の輪」を広げてみませんか。



おいしく焼けたかな



「こんにちは!」「はじめまして!」



漢字で住所を書くのは難しいね

日時 日曜日 全5回 午後1:30～4:30

7月13&27日, 8月10&24日

9月14日

場所 磐田市上岡田地区 上岡田公会堂 磐田市上岡田 750-1

★期間・場所に変更になる場合があります。事前にお問い合わせください。

★その他、**浜松市東区・天竜区、湖西市**でも募集しています。お問合せください。

主催：NPO法人フィリピンナガイサ

Tel 080-3671-8380 (日本語) <http://filipinonagkaisa.org/>



平成 26 年度文化庁委託事業

バヤニハン日本語教室 ～みんなで地域をつくっていこう～

日本語教室の ボランティア大募集!!

おねがいしたいことは…

- ★学習者の隣に座ってもらう。
- ★日本語で話しかけてもらう。
- ★学習者のノートを見てもらう。

この教室では、日本滞在年数の長いフィリピン人のバイリンガル講師が、来日して間もないフィリピン人に日本語や日本文化、ルール、マナー等を教えています。そこで、学習者に寄り添ってサポートをする日本人の“おしゃべりボランティア”を募集しています。同じ地域に住む外国人と「友達の輪」を広げてみませんか。



おいしく焼けたかな



「こんにちは!」「はじめまして!」



漢字で住所を書くのは難しいね

日時 日曜日 全10回 午後 2:00～4:00

10月26日, 11月9日&23日, 12月7日&14日

1月11日&25日, 2月8日, 3月8日(午前・午後)

場所 県営浜北団地 集会場(浜北区)

浜松市浜北区上島 2345-100

★期間・場所に変更になる場合があります。事前にお問い合わせください。

★湖西市で開催する教室でも、おしゃべりボランティアを募集しております。

主催：NPO法人フィリピンナガイサ

Tel 080-3671-8380 (日本語) <http://filipinonagkaisa.org/>

Katanungan para sa mga Mag aaral KOSAI class

① どうやってこの日本語教室のことを知りましたか。

ロコミ (フィリピンの知人から 5 KOKO 3)

② よかったトピックに○を付けてください

1. 自己紹介 (5名)
2. 電話のマナー (5名)
3. 社会保険 (8名)
4. 会社でつかう言葉 (6名)

③ どうしてそれ②がよかったですか。

1. 言葉をたくさん覚えることができたから。(3名)
2. 普段の生活でつかう言葉を覚えることができたから。(3名)
3. 楽しかったから。(2名)
4. 自分にとって全てが必要な勉強だったから。

④ また教室が開催されたらどんなことを勉強したいですか。

1. 日本語の会話 (6名)
2. ひらがな、カタカナの読み書き (6名)
3. カタカナ、漢字の読み書き
4. 敬語

⑤ 教室で日本人ボランティアと一緒に勉強するのはどうでしたか。

1. 言葉が分からないときはていねいに教えてくれて、優しかった。(8名)

⑥ クラスについて、良いところはどこですか。

1. テーマは全て良かったです。
2. ていねいに教えてくれたところ。
3. 全てが普段の生活で必要だということ。
4. NPO 法人のグループは協力的でとても良かったです。
5. 先生方が優しいです。

⑦ 改善してほしいところはどこですか。

1. 回数をもっと増やす。(5名)
2. 一回の時間をもっと増やす。(2名)

⑦ フィリピンナガイサにコメント

Katanungan para sa mga Mag aaral Tenryu class

6 名回答

① どうやってこの日本語教室のことを知りましたか。

ロコミ (フィリピンナガイサスタッフから2、スタッフ以外のフィリピンの知人から4)

フェイスブック 2

② よかったトピックに○を付けてください

1) Pagpapakilala sa sarili 4

2) Botika at Gamot 3

3) Legal Procedure (Tax certificate) 5

4) Shopping 2

5) Pagtatapon ng Basura 2

6) School events and information 2

7) Lamay sa Japan 4

8) Social Insurance 5

9) Earthquake, Bousai Picnic 5

10) Pangalan at tirahan sa Hiragana/ Katakana/ Kanji 4

11) Practice of Hiragana / Katakana 5

12) Conversation with Japanese volunteers 4

③ どうしてそれ②がよかったですか。

日本の文化や生活環境についてもっと知りたいから。特に日本人との会話。

簡単なひらがなとカタカナを勉強したから。

いろんなことを勉強できた。

偉い人がたくさん来てくれた。(その道のスペシャリスト、行政関係者、大学関係者など)

取り上げたトピックすべてがとても重要で勉強になった。

ひらがなの練習ができたこと。毎日使えるから。

④ また教室が開催されたらどんなことを勉強したいですか。

「日本語」をもっともっと勉強したい

漢字を勉強したい

職場の日本人とのコミュニケーション

面接の練習

⑤ 教室で日本人ボランティアと一緒に勉強するのはどうでしたか。

たくさん助けてくれた。

親切で、おもしろくて、丁寧 (腰が低い)。

感謝しています。

手助けしてくれたので勉強がはかどった。

例を挙げて説明してくれたのでとても助けになった。

⑥ クラスについて、良いところはどこですか。

習った全部のトピックが良かった

自己紹介のトピック役に立った

全部

防災のトピック

書いたり話したりの練習

2) 改善してほしいところはどこですか。

特に無し

もっと早い時間帯がいい

もっとたくさん日本語の練習（書いたり話したり）がしたい

⑦ フィリピンナガイサにコメント

先生方みなさん、本当にありがとう

Salamat po

① このクラスを^{なに}何で^し知りましたか。

フィリピンナガイサスタッフから…2名 電話で問い合わせた…1名

② いちばん良^よかった授業^{じゅぎょう}はなんですか？ ○をつけてください。(いくつでも OK)

自己紹介 4 電話のかけ方 4 学校の行事 4 病院 4 お葬式 3 交通安全 5 薬局 6 名前と住所を書く練習 5 税金 4 料理 5 ひらがなとカタカナの練習 5 日本人ボランティアとの会話 3 サロサロ 5

③ ②について、なぜ、それが良^よかったと思^{おも}いますか？

日本の生活に役に立った。…3

交通ルールが大事だと分かりました。

ぜんぶ大事なことから

いろいろ勉強になった

④ 今後、同じように日本語教室があ^{こんご}ったら、取り上げてほ^{おな}しいテーマは何^{にほんごきょうしつ}ですか？

漢字

病院のことば

会話を組み立ててもっと話す練習をしたい。

日本語のしゃべり方（会話）

日本の祝日、伝統、季節のこと

⑤ 日本人のボランティアさん^{にほんじん}が隣^{となり}に座^{すわ}るレイアウトや「おしゃべりタイム」は、

どうでしたか？感想^{かんそう}を聞^きかせてください。

たくさん助けてもらった

上手に教えてくれた…2

いろいろ教えてもらった

何を話しているのか、ときどきよく分からなかった

⑥ 授業内容^{じゅぎょうないよう}について

・良^よかった点^{てん}

仕事の面接のときに、ロールプレイが役に立った

会話

料理

日本の人とおしゃべりできた

日本語からタガログ語への通訳がある

かいぜん
・改善したほうがよいと思う点

⑦ フィリピンナガイサに要望はありますか？

次のクラスもお願いします。…4

きょうりよく
ご協力ありがとうございました。Salamat Po.

アンケート（学習者用）磐田クラス 4名回答

① このクラスを^{なに}何で^し知りましたか。

HICE 1 ナガイサスタッフ 1

② いちばん良^よかった授業^{じゅぎょう}はなんですか？ ○をつけてください。(いくつでも OK)

自己紹介 3 電話^{じこしょうかい}のかけ方 3 労働問題セミナー 3 電話で病院を予約する 3 ひらがなの練習 3 カタカナの練習 3 復習テスト 3 名前と住所を書く練習 3 日本人ボランティアとの会話 3 サロサロ 3

③ ②について、なぜ、それが良^よかったと思^{おも}いますか？

- ・興味深い
- ・先生たちが優しい
- ・いろいろ勉強になった。
- ・情報がもらえた
- ・書くことと読むことができた

④ 今後、同じように日本語教室^{こんご おな にほん ごきょうしつ}があつたら、取り上げてほしいテーマは何^{と あ なん}ですか？

^{じょうきい が い}
(上記以外で)

- ・ていねいな日本語
- ・文化
- ・言^いっていい言葉と^いけ^ない言葉
- ・日常会話
- ・書けるようになりたい
- ・書く練習、読む練習

⑤ 日本人のボランティアさん^{にほんじん}が隣^{となり}に座^{すわ}るレイアウトや「おしゃべりタイム」は、

どう^{かんそう}でしたか？感想^きを聞かせてください。

- ・新しい人と知り合^あってお話^わしできて楽しかった。
- ・よかった。助けてもら^{たす}って勉強^{べんきょう}になった。
- ・いろいろ教えてくれ^してとても助^{たす}かった。
- ・日本語でおしゃべり^{おしゃべり}できて楽しかった。

⑥ 授業内容^{じゅぎょうないよう}について

- ・良^よかった点^{てん}
- ・日本語でおしゃべり^{おしゃべり}ができた

- ・病院に電話をかけるやり方が分かった。
- ・労働問題セミナーがとても役に立った。
- ・会話の練習

・改善かいぜんしたほうがよいと思う点てん

- ・もっとゆっくり、少しずつ（step by step）教えてほしい

⑦ フィリピンナガイサに要望ようぼうはありますか？

- ・もっと勉強したい
- ・もっと上のレベルを勉強したい
- ・仕事の紹介をしてもらえたら（英語教師）
- ・またクラスをやってください

ご協力きょうりょくありがとうございました。Salamat Po.

アンケート（ボランティア用）天竜クラス

一名

① このクラスを何で知りましたか。 ネット

② このクラスに継続して通っていただいた理由について、よければお聞かせください。
スタッフの配慮のおかげ。 あと、まわりにフィリピンの方が多いから。

③ いちばん良かった授業はなんですか？ ○をつけてください。(いくつでも)

自己紹介 / 薬局 / 納税証明書 / 買い物 / ゴミのルール /
学校行事 / 日本の葬祭 / 社会保険 / 地震・防災ピクニック /
漢字で住所を書く練習 / ひらがなとカタカナの練習 / 会話ロールプ
レイ / 学習者との雑談 (無回答 3回のみ出席)

④ ③について、なぜ、それが良かったと思いますか？

⑤ 今後、同じように日本語教室があったら、取り上げてほしいテーマは何ですか？

(上記以外で)

⑥ 授業内容について

・良かった点 両方の言語で教えられるところ

・改善したほうがよいと思う点

理解していくところまでいくのか？ 日本語まで至らない点

⑦ フィリピンナガイサに要望はありますか？

きょうりよく
ご協力ありがとうございました。 Salamat Po.

アンケート（ボランティア用） 東区クラス 5名回答

① このクラスを^{なん し}何で知りましたか。

スタッフからのメール/2、ホームページとチラシ、スタッフから、東区社協の委員から

② このクラスに^{けいぞく かよ}継続して通っていただいた理由^{り ゆ う}について、よければお聞かせ^きください。

- ・仕事をやめた後、多少なりとも役に立つことがあればと思い。
- ・家から近い
- ・フィリピンの方が何を必要としているか、現実困っていることについて把握したい。ニーズを還元していきたい。
- ・この地域に勤務して地域の事情をよく知っており、少しでも力になりたいと思ったから。

③ いちばん良^よかった授業^{じゆぎやう}はなんですか？ ○をつけてください。(いくつでも OK)

自己紹介 ^{じ こ しょうかい} / 電話のかけ方 / 学校の行事とお知らせ 2 / 病院 3
/ お葬式 1 / 交通安全講話・110 番 1 / 薬局 2 / 漢字で住所を書く練習 / 税金と給与明細 2 / 料理 3 / ひらがなとカタカナの練習 1 / 会話ロールプレイ 2 / 学習者^{がくしゅうしゃ}との雑談^{ざつたん} 2 / サロサロ

④ ③について、なぜ、それが良^よかったと思^{おも}いますか？

- ・同じ体験をするので話しやすい(料理)
- ・実際に使うことが多いから
- ・一番必要として困っている問題だから(病院・税金・給与明細)
- ・生の日本語、すぐに生活に役立つ日本語を学ぶきっかけになるから
- ・お互いの理解と共通の話題がいいと思う

⑤ 今後、同じように日本語教室^{にほんごきやうしつ}があつたら、取り上げてほしいテーマ^{と あ}は何^{なん}ですか？

- ・簡単な敬語
- ・事故等でけがをした時の保険の請求、流れ、補償
- ・日本人ボランティアとの共同作業的なロールプレイとか

じゅぎょう
⑥ 授業内容について

よ てん
・良かった点

- ・ゲスト回はすごく有意義だったと思う
- ・税金の必要性について
- ・気楽な雰囲気の授業で楽しみながら勉強できるところ
- ・学習者が意欲を持った方が多いと思う

かいぜん てん
・改善したほうがよいと思う点

- ・就学児童・生徒がいる場合には、対応できるといいと思う
- ・講師の先生の話をみんなで聞くことの大切さ
- ・タガログ語の説明を日本語でもできる内容なら日本でした方がいいと思う。
- ・日本語の習得が目標であれば、雑談がもっと多い方がいいと思う

ようぼう
⑤フィリピンナガイサに要望はありますか？

- ・毎年行っている大切な項目は、重要項目としてきちんと取り入れていくこと

きょうりよく
ご協力ありがとうございました。Salamat Po.

アンケート（ボランティア用） 磐田クラス 5名回答

① このクラスを何で知りましたか。

玉田さんから 1 ICE 鈴木ゆみさんより 1 ナガイサからのメール 2
HICE からチラシ 1

② このクラスに継続して通っていただいた理由について、よければお聞かせください。

- ・ 国際交流に特に興味があるので今後も機会があれば声をかけてください。
- ・ 同じ地域に住む外国の方々と地域がもっと関わりを深められたらよいと思って。
- ・ 職場が近く定期券で通えたため
- ・ 仕事の中でフィリピンの方々と接することが多く、少しでも協力したいと感じたため。
- ・ フィリピンの方が一生懸命日本語を学習賞とする熱意が感じられたので

③ いちばん良かった授業はなんですか？ ○をつけてください。(いくつでも OK)

自己紹介 / 電話のかけ方 / 労働問題セミナー 1 / 電話で病院を
予約する / ひらがな 1 / カタカナ 1 / 名前と住所を書く練習
2 / 復習テスト / ロールプレイ 2 / 学習者との雑談 2 / サロ
サロ (2名は最終日のみの参加)

④ ③について、なぜ、それが良かったと思いますか？

- ・ 実生活で役に立つのではと思ったから。
- ・ すぐに使えることを勉強できたり、一番困ることを解消できていると感じたから。

⑤ 今後、同じように日本語教室があったら、取り上げてほしいテーマは何ですか？

(上記以外で)

- ・ 日本のいいところ、改善してもらいたいところ
- ・ 子ども・学校など
- ・ 学校の先生とのやりとり
- ・ 就学児童・生徒をお持ちの保護者に学校での日本語。いろいろな手続きや学校との連携。
- ・ 税金について

⑥ 授業内容について

・ 良かった点

- ・ 交流会ではみなさん「ハレの日」の御馳走を作ってくださって、この回を大切に思っていると感じました。
- ・ 授業を楽しんでいるようで良かった。
- ・ 実際に使えることが多かったこと

- ・^{かいぜん}改善したほうがよいと思う点
- ・人数がもっと集まると良かった。

⑤フィリピンナガイサに^{ようぼう}要望はありますか？

- ・磐田で開催する機会を増やしてください。
- ・早めに情報をいただければ、地域や友人に伝えることができます。
- ・まだまだ手探りの状況は続くと思いますが、確実に活動の成果があると思います。引き続き頑張っていたきたいです。できるだけお手伝いさせていただきます。
- ・少しでも力になれていたらうれしいです。
- ・このクラスに来られた人には継続する形を何らかの方法でとってもらいたい。

^{きょうりよく}
ご協力ありがとうございました。 **Salamat Po.**

アンケート 以下、さしつかえのない範囲^{はんい}でご回答^{かいとう}お願いします。日本語以外での回答^{かい}も可。

1、 この講座^{こうざ}をどこで知りましたか。□にレ（チェック）をお願いします。

□ チラシ（チラシをもらった場所：ナガイサスタッフから 2 / U-ToC 1
（チラシを見た場所：

□ クチコミ（どなたのご紹介^{しょうかい}ですか：NPO 日本語日本文化加藤先生 1 / HICE
職員 1 / 磐田国際交流協会 3 / 半場さん 3 /

□ その他^た（ ナガイサスタッフ自身 2 / メーリングリスト 2

2、 この講座^{さんか}に参加しようと思ったきっかけ、理由^{りゆう}があればお聞かせください。

- ・ 一昨年からフィリピン生徒・児童の学校での支援をしているので。
- ・ 在住外国人の直接の悩みや現状を聞き、今後の外国人支援に役立てたかった。
- ・ 浜松のフィリピン人の実情に興味があったので。
- ・ 在住外国人が置かれている状況を知りたかった。
- ・ 他エリアの活動が知りたかった。
- ・ 近年増加しているフィリピン人の若者の現状を知りたかった。また、関係団体等の方との情報交換をしたかった。
- ・ 学齢期超過年齢の若者たちの教室の詳細を知りたかった。
- ・ フィリピンの子どもたちが日本の学校にたくさん編入するようになった。フィリピンの教育環境等実際に関わっている方から話を聞きたいと思った。
- ・ 支援しているフィリピンの子どもたちに役立つ情報を得られると思った。
- ・ 定時制高校に勤めている。生徒にフィリピン人が多く授業の助けになればと思った。
- ・ 来日フィリピン人の背景など知りたいと思った。
- ・ 興味があったので。
- ・ フィリピンの人たちの来日目的やフィリピンでの暮らしぶりなどを知りたかった。

3、今回の講座のチラシを見た方に質問いたします。ご関心を持たれた部分や文面等があれば、どの部分だったかをお聞かせください。

- ・ 「教室への出席率がなかなか上がらなくて」という部分
- ・ 「意見交換の場」という部分
- ・ 学齢期超の青年たちの支援についての記載
- ・ 「在住外国人の声を聞く」という部分

3、今日の講座の内容はどうか。□の中にレを入れて、理由をお聞かせください。

□よかった 15

りゅう
(理由：

- ・ダバオ出身の生徒と関わっているのでダバオのことがよく分かった。また多くの困難が考えられる中、フィリピン人の支援を続けている中村グレイスさんにお会いできて顔に人柄が出ていて感動した。磐田市教委にはフィリピン人相談員の方がおらずカウンセリング活動に困っている。よい人材の方がいたらぜひ応募していただきたい。
- ・フィリピンの方々の苦悩が二人の講師の方の内容から改めて分かった。
- ・グレイスさんの家族背景、在日フィリピン人の悩み、国民性の違いが少し理解できた。松本さんの経験談がすばらしく、ナガイサの取り組みの大変さが分かった。
- ・フィリピンの方々の現状がよく理解できた。
- ・いろいろな団体に関わっている方々からも話を聞いた。実際に接している子どもたちの状況を分かりやすく説明してもらえた。現地の状況、日本に来る子供たちの状況、日本とは違う状況を初めて知ることができた。
- ・子どもたちがどのようにして日本に来たのか少しわかった気がする。
- ・グレイスさんの具体的な話
- ・松本さんの研究成果
- ・日本人・フィリピン人両方の視点から現状を聞いたことがとても参考になった。松本さんの話を始めて聞いて、もう少し詳しく聞けたらと次回を期待。
- ・新しい情報を知ることができた。
- ・初めて参加したが、フィリピンナガイサのいろんなことが初めて分かった。
- ・新しいご縁ができた。
- ・両講師とも日本とフィリピン両国に滞在してそれぞれの立場からいろいろ教えていただき大変参考になった。
- ・フィリピンの事情について知ることができた。フィリピンはタガログ語だと思っていたので、違うことがよく分かった。
- ・質問に丁寧に答えてくださり、疑問が解決した。
- ・参加者同士の交流と悩みについての意見交換が進んでいたようだった。

□あまりよくなかった

りゅう
(理由：

4、 次回は 11 月 29 日 (土)、「在住外国人を取り巻く環境を理解する」という講座

を予定しています。在住外国人の来日背景や在留資格等、事前に質問や、皆様が

活動されている上で気になっていることがありましたら、お聞かせください。

- ・日本人と結婚した母親に呼び寄せられた子供の滞在資格について
- ・呼び寄せの子の環境変化の中で起こりうる様々な問題について
- ・仕事・就職の状況
- ・ビザの取得についてどうなっているのか

- ・ 在住資格の切り替えや延長に伴うトラブル、支援者として気を付けるべきこと
- ・ 「日系人」の定義、権利・義務の点での「日本人」との違い

5、 以下、□に レをつけてください。

(1) 男 4 女 11

(2) 10代 20代 1 30代 40代 4 50代 7 60代 3 70歳以上

●日本語教室で支援をしたことがありますか。(はい 11・ いいえ 3)

●ふだん、おもに何をしていますか。(複数回答可)

(□バイリンガル指導者 2 □日本語教育関係 5

□学校等で子どもの教科学習支援 6 ・ □その他 3)

6、 その他、ご自由にお書きください。

(フィリピンナガイサへご要望など、なんでもかまいません。)

- ・ 教室にも参加せず家に引きこもっているような子供に対する支援の方法があるか。
- ・ 作文面接指導の「一人歩き」の問題
- ・ 教えている生徒の名前が出たのでびっくりしました。みんな知らないところで頑張っているみたいで、私も頑張らないと！と思った。

第1回 7月13日 「自己紹介」

- ・教室のチラシに簡単でもいいので会場の地図があるといい。
- ・今日ここに来てよかった。楽しかった。書くことと話すことのアクティビティをもっとしたい。もっと日本語のボキャブラリーをふやしたい。
- ・自分と同じように、もっと勉強したいと思っているフィリピン人に会えてよかった。
- ・少し難しかった。でも楽しんでできた。
- ・たくさんの人と知り合って楽しかった。勉強になった。
- ・楽しかった。もっと勉強したい。
- ・これからいろいろな授業が楽しみ。

第3回 8月10日 「労働問題」

- ・いろいろ教えてくれてありがとうございます。
- ・分かりやすい説明してくれてありがとう。
- ・労働者の義務について、勉強になりました。
- ・労働者の権利と義務が分かってよかった。タガログ語で聞けてよかった。
- ・企業の義務、労働者の権利、について正しく知ることができました。
- ・労働者の権利について、いろいろ勉強になりました。

第4回 8月24日 「電話で予約 — 病院」

- ・すごく楽しかった。カタカナ・ひらがなも勉強になりました。病院へ何を持っていくかが分かりました。楽しかった。
- ・ハッピー。 ありがとうございます。
- ・はじめてなので、カタカナも勉強になりました。これからも分かりやすくいろいろ教えてください。
- ・病院への電話のかけ方勉強になりました。ありがとうございました。
- ・病院への連絡の仕方が勉強になりました。うれしかったです。
- ・今日の授業はこれから使えると思います。すごくよかったです。アクティビティも楽しかった。
- ・病院へ予約することはあまりなく、開院時間と曜日を聞くことくらいしかないとは思ってたが、会話練習としては良い時間になったと思います。(日本人ボランティア)
- ・はじめて参加させていただき、大変勉強になりました。しっかり応答できるようになりたいです。(日本人ボランティア)
- ・皆さん明るく賑やかで楽しそうでした。(日本人ボランティア)
- ・初めての学習にしてはとても速く覚えて驚きました。ひらがなも上手にかけています。

とても素直な方で、学習意欲が伝わってきます。一緒に勉強させていただいてありがとうございました。楽しかったです。私も今、韓国語を勉強しています。少々不安なところが同じ気持ちだと思います。(日本人ボランティア)

・学習者さんもスタッフさんとてもパワフルで明るくて 3 時間があったという間に過ぎました。病院予約の練習では、私の方がしどろもどろになってしまったりして、とても面白く楽しかったです。ありがとうございました。(日本人ボランティア)

第 5 回 9 月 15 日 「復習 修了式 サロサロ」

- ・ありがとうございました。先生もスタッフの皆さん、ボランティアの皆さん優しいです。
- ・もっと書くことと会話を勉強したい。先生と日本人ボランティアさんは楽しかったです。この教室を続けて、他のフィリピンの人にもいろいろ教えてあげてほしい。
- ・ありがとうございました。勉強してよかったです。とてもたのしかったです。またよろしくお願いします。私ももっと頑張ります。
- ・ありがとうございました。 本当に楽しかった。日本語を続けて勉強したいです。

第1回 7月7日 「自己紹介」

- ・分からない日本語がたくさんあるので、もっと勉強したい。
- ・先生たちがやさしかった。たくさん勉強した。
- ・きんちょうしました。
- ・楽しかった。
- ・新しい友だちやクラスメイトと出会えた。
- ・たくさんのフィリピン人と出会えた。また来たい。
- ・初めて会ったフィリピン人がたくさんいて、楽しかった。
- ・勉強になった。
- ・もっと勉強したい。書く練習をしたい。
- ・また来ます。

第2回 7月20日 「電話」

- ・新しい言葉、勉強になりました。
- ・新しい日本語の言葉が勉強になりました。
- ・今日はたくさん勉強になりました。ひらがなを黒板に書きました。ドキドキしたけど楽しかった。
- ・電話を切る時の丁寧な言葉が勉強になりました。
- ・ひらがな書き取りの基本がアイウエオにありますので、アイウエオをしっかり覚えることが大事です。似ているひらがなは関連付けて覚えると良いと思います。(日本人ボランティア)
- ・大きな声で話すことを心がけるといいと思います。(日本人ボランティア)

第3回 8月3日 「学校の行事」

- ・段取りよく整理されていて、とても的確な授業内容だった
- ・私たちがよく分かるように先生が努力してくれていることが察せられて有難かった。
- ・説明の仕方がとても分かりやすかった。
- ・とても勉強になりました。
- ・今日はたくさん勉強になりました。楽しかったです。
- ・性格を表すことばが分かりました。

第4回 8月31日 「お葬式」

- ・くわしく教えてもらいました。

- ・日本とフィリピンの文化の違いがわかりました。
- ・先生がとても良い。教え方、説明がよく分かった。私の子どもを見てくれた方（ボランティアさん）もとても我慢強く丁寧に教えてくれた。
- ・ひらがなは大きく大きく書くことを教えました。「御愁傷様でした」だけは覚えてくださいと強調していいました。（日本人ボランティア）
- ・5年生の男の子を担当しました。能力は高いと思うので、興味のあることから覚えさせたり、集中が続くように短く切って練習したりして、日本語学習のスタートを順調に切ってほしいと思いました。学校でうまくいきますように。次回もあえるといいです。（日本人ボランティア）
- ・遊び半分にする必要があると思う。（子どもへの対応について。日本人ボランティア）

第5回 9月07日 「病院・健康に関すること」

- ・体のいろいろな部分の名前を覚えました。
- ・今日もたくさん勉強した。新しい生徒が増えましたね。この教室に係わるみんなに「ありがとう」と言いたいです。
- ・説明がよく分かった。隣に座った日本人ボランティアさんがとてもよく助けてくれた。
- ・家の近くにも小さな病院（クリニック）があって、もし病気になったらそこにも行けることが分かった。
- ・どういうときにどこの病院に行くか勉強して、とても楽しかった。
- ・楽しい雰囲気良かったです。病院のことが分かりやすかったです。みんな一生懸命勉強していました。（日本人ボランティア）
- ・楽しい授業でした。生活に関する内容で、とても身につく勉強ができてよかったと思います。日本語とタガログ語で学習者も理解できていると思います。（日本人ボランティア）
- ・ロールプレイングによる練習は効果があります。大きく声を出すことではっきりと伝えられますから、間違ってもいいから大きな声で言うといいですね。（日本人ボランティア）
- ・今日のテーマは生活していくうえで不可欠な題材なので、とても有意義だったと思います。みんな一生懸命に授業に集中していたのが印象的です。（日本人ボランティア）
- ・ペアになったマサミさんは熱心に授業を受けていて良かったです。早く日本語が上達できるであろうと期待しています。外科と整形外科の違いは日本人でもはっきりしないかと再発見でした。（日本人ボランティア）
- ・病気の内容によっては、最初に内科を受診し様子を話してアドバイスを受けるのも一つの選択肢だと思う。（日本人ボランティア）

第6回 9月21日 「交通安全・110番」

- ・大変勉強になりました
- ・今日のクラス、とてもよく分かったのでうれしい
- ・いろいろな交通ルールがわかった
- ・警察の方の説明が分かりやすくよかった
- ・とてもたのしかった
- ・自転車が走っていい正しい位置がわかった
- ・110 番のかけ方が分かった
- ・日本の交通ルール、標識よくわかりました
- ・自転車を盗まれたらどうしたらいいか分かりました
- ・自転車のマナーとルール分かりました。毎日自転車を使っているので良かったです
- ・良い経験になった。浜松の交番の場所を教えてほしい
- ・面白かった。注意しなければいけないことについて、警察の人が話してくれた。
- ・110 番に実際に電話をかけたのがいい経験
- ・よく分かった。警察の人が気さくで良かった
- ・小中学生にとっても大切なことで、これから生活するのに必要だと思いました。（日本人ボランティア）
- ・フィリピンと日本の違いを比較しながら、日本の交通ルールや 110 番の活用方法を説明してくれてよかったと思う（日本人ボランティア）

第 7 回 10 月 5 日 「薬局」

- ・いろいろなことば、勉強になりました。薬の見方が勉強になった。
- ・杏林堂で薬を買う時のことば、勉強になりました。
- ・薬のいろいろなことば分かりました。

第 8 回 10 月 19 日 「復習・住所を漢字で書く練習」

- ・自分の住所を漢字で書きました。
- ・漢字はむずかしかったけど勉強になりました。
- ・難しかったけど、漢字で書けた。
- ・分かりやすく説明してもらいました。
- ・住所を漢字で書きました。ひらがなでいろいろなことばを書きました。
- ・漢字を書くことを勉強しました。
- ・左利きの人は特に漢字が書きにくそうでした。（日本人ボランティア）
- ・小学校低学年の子はちょっと漢字の練習は難しいようだったが、一応できるところまでやったが苦勞した。（日本人ボランティア）

第9回 11月16日 「給与明細の見方」

- ・具体的な個人の事情を考慮し、具体的に分かりやすく説明していただき（数字の具体化）よく分かりました。（日本人ボランティア）
- ・じつは確定申告会場の入力補助員や市民税課の派遣の仕事をしていたことがあります。今日の事業では日本人でもよく分からないようなところまで分かりやすく説明してくださり、私自身も改めて計算方法で新しく知るところもあり良かったです。（日本人ボランティア）
- ・日本の税制度が分かりました。
- ・私自身も勉強になりました。（日本人ボランティア）
- ・ありがとうございました。いろいろ勉強になりました。
- ・どうしてたくさん税金を払っているんですか。
- ・いろいろな税金のことが分かりました。
- ・税金をどういうふうに払うとか計算するとか、何に使うとか、いろいろ分かりました。
- ・支払った税金は、全部見えるんですか。
- ・保険や税金のどんな種類が差し引かれているかが分かりました。

第1回 10月26日 「自己紹介」

- ・勉強になりました
- ・お母さんはいなかったけど、ちゃんとやれてうれしかった。楽しかったです（子ども）
- ・勉強はおもしろいです
- ・自己紹介がきちんとできた
- ・日常会話をもっと勉強したい
- ・先生の話し方が少し早い

第2回 11月9日 「病院・健康」

- ・ロールプレイで医者に自分の病気の症状を言うやり方が分かりました
- ・クラスの時間をのばしてほしい
- ・いろいろ勉強しました。 もっと会話の練習を増やしてほしい
- ・新しい言葉を知ってうれしい。 もっと勉強していろいろ知りたい
- ・体の部分の名前がわかってよかった
- ・ひらがなの読み方がわかってうれしい
- ・ひらがなを勉強してうれしい

第3回 11月23日 「税金 市民税」 ゲスト浜松市税務課

- ・たくさん勉強になりました。
- ・市民税と県民税の違いがわかりました。
- ・色々教えてくれて、勉強になりました。ありがとうございました。
- ・税金の種類がわかりました。
- ・言葉を覚えるのは難しいですが、税金を払わないといけないということがわかりました。
- ・ありがとうございました。（2名）
- ・給与から何が引かれているかということがわかりました。
- ・課税、納税証明書のことがわかりました。

第4回 12月7日 「ひらがな・カタカナ」

- ・ツ と シ のほかに、 ソ と シ が区別できないようでした。さらにひらがなのり も加わって難しいと言っていました。日本人でも難しいところですが、重要なのでぜひ覚えてほしいと思いました。がんばって！（日本人ボランティア）
- ・唇が曲がってむずかしい。読み方と書き方とたくさんいろいろ勉強しました。ひらがなとカタカナの違い。

- ・ ひらがなとカタカナの違い、わかりました。
- ・ たのしかった。とても細かいことまで勉強した。もっともっとひらがなとカタカナの勉強したい。
- ・ カタカナの書き方、勉強になりました。
- ・ たくさん勉強しました。
- ・ ひらがなとカタカナ教えてくれてありがとう。もっと日本語教えてください。
- ・ 日本語を勉強したい
- ・ 勉強になりました。もっともっと勉強したいです。

第5回 12月14日 「ごみのルール」

- ・ たくさん勉強になりました。
- ・ ゴミの分け方分かりました。 月と曜日の発音が分かりました。
- ・ もえるごみ、もえないごみの分け方が分かりました。曜日に日本語も覚ええました。

第6回 1月11日 「学校の行事」

- ・ たくさん勉強しました。 いつも「く」と「こ」の発音の区別がつかず、うまくいえないので練習できてよかったです。
- ・ 遅刻してきたのであまり勉強できなかったけど、わかりました。
- ・ 興味深いトピックでした。

第7回 1月25日 「お葬式のマナー」

- ・ お葬式のマナーを教えてくれてありがとう。もっと日本の文化について教えてください。
- ・ 文化の違いとかマナー、遺族に言う大事なことばなど勉強になりました。
- ・ お通夜とお葬式について今日はいろいろ勉強できた。ありがとうございました。
- ・ たくさん勉強になりました。
- ・ クラスは面白くて楽しいです。

第8回 2月8日 「社会保険」

- ・ とても興味深かった。
 - ・ ありがとうございました。とても勉強になりました。
 - ・ 社会保険についてとても勉強になりました。
- 菊池先生、みなさんありがとうございました。

- ・ 社会保険についていろいろ説明してくれ てありがとうございました。

第 9/10 回 3 月 8 日 「防災マップ」

- ・ 危険な場所などや避難場所を知ることができた。
- ・ 防災についていろいろ分かった。自分の周りの危ないところ、避難場所がわかった。
- ・ 防災メールの登録ができなかった。
- ・ 防災についていろいろ教えてくれてありがとう。もっといろいろな情報を教えてほしいです。
- ・ とても楽しかった。勉強になりました。
- ・ 防災のこといろいろなことがわかってとてもよかった。
- ・ 避難場所がどこにあるか、いつ行くか、わかった。
- ・ 避難場所がどこにあるか分かった。ボランティアの皆さんありがとう。
- ・ いろんな先生やボランティアさんと会えてよかった。

第1回 「自己紹介」

- ・もっと勉強したいです。
- ・今日の勉強は楽しかったです。
- ・今日の勉強良かったです。

第2回 「電話をかけるときのマナー」

- ・正しい使い方が勉強をさりました。これからも使いたいと思います。またよろしくおねがいします。ありがとうございました。
- ・いろいろ勉強になりました。楽しかったです。まったよろしくおねがいします。ありがとうございました。
- ・丁寧な話し方で電話に応える方法を勉強しました。
- ・いばいのことばの勉強しました。
- ・敬語は聞きなれてもいないので難しいですね。同音に聞こえる言葉は迷うそうです。（「来て」と「聞いて」など）何もせずすっかりゲストになってしまいました。楽しかったです。（日本人ボランティア）

第3回 「社会保険」

- ・社会保険と国民健康保険の違いがわかりました。ありがとうございました。5名
- ・社会保険ってなにかいまままでわかりませんでした。今日は参加して本当良かったです。勉強になりました。
- ・今日のテーマ本当に良かったです。
- ・言葉は難しいけど、沢山勉強できました。2名
- ・色々勉強になりました。とても良かったです。先生がわかりやすく説明してくれました。ありがとうございました。もっと勉強したいです。よろしくお願いします。

第4回 「仕事の日本語」

- ・仕事で使う言葉（困った時）勉強になりました。ありがとうございました。3名
- ・また新しい言葉を覚えました。ありがとうございました。
- ・今日も沢山勉強できました。嬉しいです。またよろしくお願いします。
- ・今日は初めてこのクラス参加しました。とても良かったです。ありがとうございます。
- ・工場で困った時（ほうれんそう報告・連絡・相談）覚えました。
- ・沢山勉強になりましたが工場、会社のルールもっと勉強したいです。時間がたりなかった。またよろしくお願いします。

- ・今日は、とても勉強になりました。5 S（整理・整頓・清潔・清掃・躰）とほうれんそう（報告・連絡・相談）の意味を知ることができました（2名）

第5回 「サロサロ&修了式」

- ・ありがとうございました。またよろしくお願いします。
- ・この教室で、また勉強をしたいです。（2名）
- ・初めて参加しましたが、とても楽しかったです。また次もよろしくお願いします。
- ・勉強になりました。楽しかったです。（2名）

アンケート 以下、さしつかえのない範囲^{はんい かいとう}でご回答^かをお願いします。日本語以外での回答も可。

1、 この講座^{こうざ}をどこで知りましたか。□にレ（チェック）をお願いします。

☐ チラシ（チラシをもらった場所： 8
（チラシを見た場所：

☐ クチコミ（どなたのご紹介^{しょうかい}ですか： 6 （村松さん 1

☐ その他（ スタッフよりメール、 HGU の ML,

2、 この講座^{さんか}に参加しようと思ったきっかけ、理由^{りゆう}があればお聞かせください。

- ・他の団体で日本語講座開催に関わっているので
- ・生活者のための日本語教室の事例や教材作りに興味があったので
- ・ナガイサの活動に興味があった
- ・日本語教育に関する知識や考え方などをどんな話題でも得たかったから
- ・テーマが興味深かった
- ・ナガイサの教材開発の結果を知りたかったので
- ・日本語教材の成果と活用に興味があったので
- ・講座のタイトルに関心があったので
- ・日本語教育に関する知識、ネットワークを広めたいため
- ・日本語教師として働いているため、いろいろな意見や講座を聞き知識を高めたいから
- ・日本語学習者のニーズについて興味があった
- ・金田教授の講義を聞きたかった
- ・日本語を教えるときの効果的な方法、あるいはメリットデメリットを知りたかった
- ・モノリンガル指導者として改善できることを知りたかった
- ・もっと勉強したいと思ったから

3、 今回の講座のチラシを見た方に質問いたします。ご関心^{かんしん}を持たれた部分^{ぶぶん}や文面^{ぶんめん}等があれば、どの部分だったかをお聞かせください。

- ・「バイリンガル指導者が指導する日本語教室」「バイリンガル指導者が作成する日本語教材」
- ・「バイリンガル指導者が作成した」
- ・バイリンガル指導者が生活日本語を教える視点のまとめ
- ・「教材の成果と活用について」

4、 今日の講座^{こうざ}の内容^{ないよう}はどうでしたか。□の中にレを入れて、理由をお聞かせください。

☐ よかった

- ・バイリンガル指導者・モノリンガル日本人それぞれの長所短所を理解したうえで、どのように教え

るか実例が聞けて良かった。

- ・具体的な事例が分かってよかった。
- ・日本語教室運営に関して大変参考になった。
- ・気をつけるべきこと、気づかなかったことが学べた。
- ・学習者側からの視点に配慮すべきということを改めて考えさせられた。
- ・バイリンガル、モノリンガルの視点から指導をしていくうえでの強みや弱み、また今まで意識していなかった学習者に対する配慮に気付かされた。
- ・学習者とのニーズのミスマッチが通常に起こり得ることを意識できて大変良かった。
- ・自分の活動を振り返るいい機会になりました。　たくさんの気づきを得ました。
- ・前半のナガイサ活動紹介が面白かった（えっこんなこともやってたの？的な）。金田先生のお話し、自立と自律の大切さとその方法（目標設定や達成感、学び方を学ぶ）すぐに現場で生かせるし、支援に携わる者の心構えについて学ぶところが多かったです。
- ・フィリピンナガイサの活動を知ることができた。
- ・金田先生のお話は分かりやすく、指導現場にすぐ活用できそうです。
- ・バイリンガル指導者について改めて考える良い機会になった。
- ・バヤニハン日本語教室の講座内容の多様性を知ることができた。
- ・バイリンガル指導者との協働、学習者の自主、自律が大切だと再認識した。
- ・学校運営や今後のカリキュラム作成等にとってもヒントになるお話をいただきました。
- ・バイリンガル指導者の気をつけるべきことが分かりました。（バイリンガル指導者コメント）
- ・改めて日本語教育について確認できた。
- ・普段留学生に教えているので、生活者のことについても聞けて良かった。
- ・バイリンガルの方とどのように連携していけばよいか改めて考える良い機会だった。
- ・ロシア語の問診票、おもしろかったです。
- ・「教材ができあがる」が新鮮でした。
- ・知識の整理になった。
- ・教材に対する考え方の見直しができた。例えば必要なものから教えているだろうか、学習者のニーズに合っているのだろうか、等
- ・今後の日本語指導の上で、ヒントになる考え方、方法を学ぶことができた。
- ・バイリンガル指導者のすべきことが分かった。（バイリンガル指導者コメント）
- ・文化庁事業の元になった日本語調査で浮かび上がった学習者の悩みの中に、「母語の教室がない」「日本語を話す相手がいない」というのが結構あったということを知ることができた。
- ・アンケートをしてもなかなか本音が聞き出せないのが常々悩みだったが、その点についてアドバイスや気づきが得られた。
- ・自立的、自律的な学習者にさせるための方策について考えさせられた。

□あまりよくなかった

- ・もう少し具体的な教材の紹介がほしかった。
- ・バイリンガル指導者の定義が曖昧だったので、グループ内で意見が割れ、結局メリットデメリットなどがよく分からなかった。

5、 以下、□に レをつけてください。

(1) 男 4 女 12 未記入 4

(2) 10代 20代 1 30代 40代 4 50代 5 60代 3 70歳以上

●日本語教室で支援をしたことがありますか。(はい 13 ・ いいえ)

●ふだん、おもに何をしていますか。(複数回答可)

(☐ バイリンガル指導者 2 ☐ 日本語教育関係 11

☐ 学校等で子どもの教科学習支援 7・☐ その他 1)

6、 その他、ご自由にお書きください。

(フィリピンナガイサへご要望など、なんでもかまいません。)

- ・ 今後も情報交換・ご教授お願いします。
- ・ 学習者RさんがN2をとったそうです。支援をよろしく。
- ・ 頑張ると言われるのはうれしいが、「バイリンガル」の程度にも不十分なところがあるのでもっと養成講座をやってくれないと困る。(バイリンガル指導者より)

アンケート 以下、さしつかえのない範囲でご回答をお願いします。日本語以外での回答も可。

1、 この講座をどこで知りましたか。□にレ（チェック）をお願いします。

☐ チラシ 5

（チラシをもらった場所：ナガイサ、湖西国際交流協会、ヒューマンアカデミー）

☐ クチコミ 9 （どなたのご紹介ですか：ナガイサスタッフ、末広さん、村松さん

☐ その他（メール、 HICE のメーリングリスト、HICE Facebook share

2、 この講座に参加しようと思ったきっかけ、理由があればお聞かせください。

- ・ 中学で教員をしていて外国人生徒と接する機会が多いことと、大学で日本語教育専攻だったのでもう少し深く学びたいと思ったから。
- ・ 磐田市内で日本語教室のボランティアをしています。フィリピンの方も参加されておりますので、少しでも勉強になればと思いました。
- ・ 清先生がNHKに出演されていた時からのファンです。昨日ナガイサスタッフからこの講座のことを聞きました。今日は参加できてよかったです。
- ・ 清先生の講座だったので。
- ・ ボランティア活動や外国人との距離を縮めるポイントに興味があったため。
- ・ 「トレーニング」というタイトルにひかれました。
- ・ ボランティア活動に役立てるため。自分の知識のため。
- ・ 清先生のお話を聞きたかったのです。
- ・ 自分たちの日本語教室の手法が正しいかどうか対比させたかったのです。
- ・ 講演内容に興味を持ったことがきっかけでした。教えるという技術的な問題からではなく学習者の立場を考えていくことについて知ろうと思いました。
- ・ 日本語教室の活動に興味があったから。
- ・ 自分が日本語ボランティアのサークルで行っている内容が正しいのか確認したかった。
- ・ 今まで日本語ボランティアやセミナーに参加した経験がなかったので、どういうものか知りたいと思ったから。
- ・ ボランティア活動にプラスになればと思ったから。
- ・ 日本語教師をしていて、清先生の御本を読みました。お会いできる機会と思い参加しました。
- ・ 清先生のお話はいつも何か大事なことが手に入ります。

3、 今回の講座のチラシを見た方に質問いたします。ご^{かんしん}関心を持たれた部分や文面等が^{ぶ ぶん ぶんめんなど}
あれば、どの部分だったかをお聞かせください。

- ・日本人だけでなく外国人に対しても相互理解、相手への尊敬が必要と実感しました。
- ・タイトル
- ・講師の方のプロフィール
- ・相手に興味を持つことが重要
- ・距離を縮める「トレーニング」という体験型のところに関心を持ちました。
- ・意識に着目すること（心の距離）
- ・一方通行でなく相手を知り引き出すことが双方を高めることになる。
- ・トレーニング、というところ

4、 今日の講座の内容は^{こうざ ないよう}どうでしたか。□の中にレを入れて、理由をお聞かせください。

□よかった 2 1

- ・日本語教育だけでなく、日ごろの授業の中でも使えそうだったからです。大変面白かったです。
- ・自分が参加している日本語教室の進め方がよく理解できました。
- ・ボランティアの基本から技術面まで、すべて勉強になりました。
- ・教える側の接し方など。単文、重文、複文の違い、いかに重文、複文を使って話しているかが分かった。相手が答えられないのは自分の話し方にも問題があるんですね。
- ・相手の話をよく聞く、自分にとってとても難しいことですが、今日のセミナー受講がハードルを低くするきっかけになればと思いました。参加して本当に良かったです。
- ・大切なことが身をもって実感できました。分かっていたつもりでしたが改めて目からウロコ！
- ・講師の方の話が軽快で力があつた。
- ・先生のお話で目からウロコがはがれるようだった。
- ・単文で話すことが必要だということがわかった。
- ・表面的なテクニックの話でなかったこと。
- ・今までの視点から少し変わったところに工夫をすることで、自分と相手のやり取りがよくなると実感できました。気遣いや相手の話に興味を持つことで、相手が学んだことをアウトプットして実践していけるので、これから普段の生活においても習慣づけていきたいと思いました。
- ・自分自身のボランティア活動に対する動機づけ、意識付けにつながった。
- ・具体的で分かりやすかった。
- ・こちらから色々教えるということではなく、相手から引き出すのが大事ということを知ることができて、今後ボランティアに参加する機会があれば意識してみたいと感じました。
- ・土産を一つ持って帰ってくださいとのことですが、いつもたくさんありがとうございます。
- ・気づきが得られました。
- ・大変端な抗議でした。自分の中のもやもやした部分が整理されました。
- ・最近日本語教育は変わってきていて、たくさん経験がある方はみなさん今日のお話のようなご

意見なので、私ももっと改善をしていかなければと思いました。

- ・引き出しながら与えるということはすごく大事だということが分かりました。
- ・教える人はずっとしゃべってはいけない、相手の気持ちも大事だと思いました。
- ・相手の自発的な発話を促すような環境作り（話題選び、聞く力、身近で具体的で本当に必要な場面設定）がとても重要だということを再認識しました。聞く力については、ついつい先回りして言うてしまうことがあるので、今後気をつけようと思いました。
- ・今日のようなお話をもっとたくさんの人に知ってほしいと思います。ルビを振ればそれでいいと思っているような資料や多文化共生と言いながらやさしくない日本語が多すぎると感じます。
- ・自国の文化を大事に思う気持ちがあるからこそ、相手の文化を思いやれるのだと思います。学習者の自信や話すことのよろこびにつながるようなボランティアができればと思いました。

☐よくなかった

5、 以下、☐に レをつけてください。

(1) 男 9 女 1 2

(2) 20代 3 30代 1 40代 2 50代 5 60代 7 70歳 1

●日本語教室で支援をしたことがありますか。(☐はい 1 5 ・ ☐いいえ 3)

●ふだん、おもに何をしていますか。(複数回答可)

(☐バイリンガル指導者 1 ☐日本語教育関係 6)

☐学校等で子どもの教科学習支援 3 ・ ☐その他 6)

6、 その他、ご自由にお書きください。

(フィリピンナガイサへご要望など、なんでもかまいません。)

- ・また何かありましたら伺いますので、いつでも声をかけていただけたらと思います。
- ・またこのような機会があればぜひ参加させてください。
- ・日本語教室については継続して子どもの支援を続けてもらいたい。
- ・フィリピンの人も湖西の教室にたくさん来てほしいです。
- ・私の学校でもフィリピンの学生が入ってきたので、今後連携というか何か交流ができたらと思います。